島根県立 安来高等学校

所　在　地：〒692-0031 安来市佐久保町 115
電 話 番 号：(0854)22-2840
ＦＡＸ番号：(0854)22-3612
Ｅ メ ー ル：yasugi-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.yasugi-hs.ed.jp/

設置学科 学級数

◆普通科 4 学級

全校生徒数 434名(H29.5.1現在)

男子187名　女子247名

学校の特色

【学校の歴史】

本校は、明治 34 年（1901 年）に開校した創立 117 年の伝統校です。卒業生は 23,000 名を優に超えています。

【教育目標】

「きびしく・高く・美しく」を校訓にかかげ、現在そして未来を生き抜いてゆく人材を育成することを目指しています。

学習効果をあげるため、各学年とも習熟度別の学習を取り入れています。また、多様な進路希望に対応するため、多くの選択科目を開講し、少人数指導や添削指導にも力を入れています。さらに、大学と連携した進路学習も行っています。

【部活動】

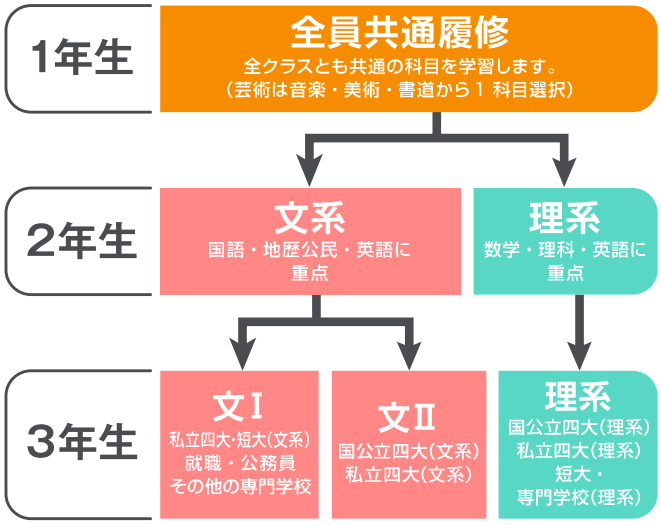
体育系では、重点指定校である男女フェンシング部（平成 23 年度全国総体男子団体優勝）、男女バレーボール部に加え、男子ソフトボール部、水泳も全国大会出場を果たしています。また、近年、上位進出を経験した硬式野球部や中国大会出場等の経験を積んだ女子ソフトボール部、ソフトテニス部、テニス部等も活躍しています。

文化系では、吹奏楽、弦楽、演劇、美術、写真、新聞、書道、囲碁の各部が全国大会・中国大会に出場・出展を遂げています。

入部率は 90％を超えており、各部とも高い目標を掲げ、日々精進しています。

学校生活

【学習活動】下の図は 3 年間の学習の流れです。



【学校行事】

遠足、校内球技大会（年 2 回）、学園祭（蒼輝祭・文化祭）、ロードレース大会、スキー研修（1 年）、芸術鑑賞等、多くの学校行事を通して、お互いの友情やクラスの団結を深め合い、笑顔溢れる充実した生活を送っています。

島根県立 情報科学高等学校

所　在　地：〒692-8500 安来市能義町 310
電 話 番 号：(0854)23-2700
ＦＡＸ番号：(0854)22-2933
Ｅ メ ー ル：jyohokagakukoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://johokoko.ed.jp

設置学科 学級数

- 情報システム科 1 学級
- マルチメディア科 1 学級
- 情報処理科 1 学級

全校生徒数 287名(H29.5.1現在)

男子155名　女子132名

学校の特色

本校は、昭和 62 年に開校し、今年度創立 30 周年を迎えました。高度情報化社会で活躍する情報関連分野のスペシャリストの育成を目標とし、常に時代に対応した最新機器と教育環境を整備し、専門分野の教育を行っています。

全学科「一括募集」制度を実施し、1 年次は各学科に所属せず、全員が共通の科目で、情報分野の基礎的な内容と商業に関する基礎を幅広く学習します。今年度から Ruby 言語を全員が学習するなど特色ある教育活動を展開しています。2 年次からは各自の興味・関心や将来希望する進路などに応じて学科を選択し、それぞれの専門分野の学習に取り組めるようにしています。また昨年度県内高校生で唯一応用情報技術者試験に合格するなど各種の資格取得にも力を入れています。昨年度から始まった情報ＩＴフェアは全国商業高校実践発表で優秀賞を受賞しました。進路は、資格を活かして進学・就職のいずれにも対応し、卒業生は各分野で活躍しています。

本校の学区は全県一区ですので、県内のどの中学校からも受検することが可能です。コンピュータについて関心を持ち、ビジネス、商業について学びたい皆さんを心からお待ちしています。

各学科の学習内容

【情報システム科】

ハードウェアとソフトウェアの両面から理解を深め、プログラミングの知識･技術を習得するとともに、ソフトウェア開発の基礎を学習します。また、パソコンの組立てやネットワークの構築・設定などの実習を通して情報通信ネットワークの利用・管理についても学習し、IT 関連分野で活躍する人材を育成します。

【マルチメディア科】

主にソフトウェア面の理解を深め、コンピュータによるデザインや画像の処理などに関する知識・技術を習得し、マルチメディアを効果的に活用して、関連分野で活躍する人材を育成します。本校の新ホームページはマルチメディア科の生徒が作成しています。是非ご覧ください。

【情報処理科】

主にソフトウェア面の理解を深め、表計算・データベース・ワープロなどの利用に関する知識･技術を習得します。また、簿記・会計の学習やコンピュータを利用したビジネスゲームなどを通して、ビジネス分野の情報を効率的に処理・活用して、ビジネスの多様な分野で活躍する人材を育成します。

IT フェアで地域の方に教える生徒

島根県立 松江北高等学校

所　在　地：〒690-0872 松江市奥谷町 164
電 話 番 号：(0852) 21-4888
ＦＡＸ番号：(0852) 21-4977
Ｅ メ ー ル：info@matsuekita.ed.jp
HPアドレス：http://www.matsuekita.ed.jp/

設置学科 学級数

◆普通科 6学級　◆理数科 1 学級

全校生徒数 864名(H29.5.1現在)

男子429名　女子435名

学校の特色

【学校のモットー】

質実剛健

知識を獲得し、それを役立てて、他者の幸せにつなげるという真正の学びを積み重ね、困難から逃げず、立ち向かう姿勢を培うことを目指します。

文武両道

部活動を始めとして、多様な経験を通して高みに登り切る経験をすることを目指します。

【学校の歴史】

明治9年(1876)創立。平成28 年に創立140 周年を迎えました。4万2千人を超える卒業生を輩出。

総理大臣として活躍した若槻礼次郎氏、竹下登氏、『長崎の鐘』の永井隆博士も本校を巣立っています。現在も地域・国内外において、各分野の第一線で多くの卒業生が活躍しています。

生徒会による松江城での熊本城復興支援募金活動

学校生活

【学習活動】

生徒が自ら課題を設定し探究する学習活動にも取り組んでいます。

◆**地域課題研究**(1年全クラス)
地域社会の課題を知り、その解決策を高校生の視点で考え、ポスターセッション等によって発表します。

◆**グローバル課題研究**(2年普通科)
地域が抱える課題をグローバルなテーマとして捉え、地元の企業や大学等の協力を得つつ、探究・研究し、その成果をレポートにまとめます。

◆**理数科課題研究**(2年理数科)
理数系分野で課題を設定し、実験等により研究した成果を発表します。代表は県大会に出場します。

【部活動】

体育系17 部、文化系20 部と多数の部活動があります。加入率は89.6％で、多くの生徒が学習と部活動の両立をめざし、意欲的に取り組んでいます。

運動部は、昨年の県総体で2年連続25 回目の総合優勝を成し遂げました。全国高等学校総合体育大会には、陸上競技、新体操、登山、弓道部が出場しました。

文化部は、全国高等学校総合文化祭に、写真、弦楽、百人一首かるた、美術、将棋が出場。放送部はＮＨＫ放送コンテスト全国大会へ出場しました。また音楽四部(吹奏楽、合唱、箏曲、弦楽)は毎年6月に定期演奏会を開催しています。

【生徒会活動】

熊本城復興支援募金活動など、自主的な活動が活発に行われています。

島根県立 松江南高等学校

所　在　地：〒690-8519 松江市八雲台 1-1-1
電 話 番 号：(0852)21-6329
F A X 番 号：(0852)21-1975
E メ ー ル：matsueminamikoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http:// matsue-minami.ed.jp/

※HP 更新中。ぜひご覧ください。

設置学科 学級数

◆普通科 6 学級　◆理数科 1 学級

全校生徒数 818名(H29.5.1現在)

男子384名　女子434名

学校の特色

(1)沿革

本校は、昭和 36 年に開校し、平成 23 年に創立 50 周年を迎えました。平成 14 年に全面改築された明るく広い校舎、エアコンが再整備された教室など、快適な学習環境のもと、新たな歴史に向かって踏み出そうという活気に満ちあふれています。

(2)教育方針

◆校訓　**質実剛健　創造進取　和敬共栄**

◆教育目標

時代の求める「学力・社会力・人間力」を身につけ、社会の健康的な発展に貢献する意欲と、その能力を備えた生徒を育成する。

学校生活

【学校行事】

3 日間大いに盛り上がる学園祭をはじめ、遠足、球技大会、芸術鑑賞、ロードレース、予餞会などがあります。

普通科は 1 年次に関西方面へ、理数科は 2 年次につくば東京方面へいずれも 2 泊 3 日の研修旅行に行き、大学や企業、研究施設の見学をします。

夏休みには、中学生に南高を体感してもらう「オープンハイスクール」を開催します。

【学習活動】

「主体的な学び」の目標のもと、ほどよい緊張感と落ち着いた雰囲気の中で授業が展開され、個に応じたきめ細かい指導が行われています。キャリア教育も充実しており、生き方講座、進路講演会、大学出張講座、先輩と語る会など、多彩な機会が用意されています。

また、図書館教育においては、人権学習ポスターセッション等の調べ学習の取組が評価されて、過去に文部科学大臣表彰を受けました。

【部活動】

部活動には、全校生徒の約 90%が加入し、勉学との両立をモットーにがんばっています。平成 29 年度は、空手道部、女子ソフトテニス部、水泳部が全国総体に出場しました。文化部の活躍もめざましく、書道部、箏曲部、放送部、自然科学部が全国総文祭に出場、また放送部が NHK 全国高校放送コンテストに出場しました。

2 年人権学習　ポスターセッションの様子

島根県立 松江東高等学校

所　在　地：〒690-0823 松江市西川津町 510
電 話 番 号：(0852)27-3700
ＦＡＸ番号：(0852)27-3703
Ｅ メ ー ル：matsuehigashi-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.matsuehigashi.ed.jp/

設置学科　学級数

◆普通科 6 学級

全校生徒数 679名(H29.5.1現在)

男子316名　女子363名

学校の特色

松江市内 3 校目の県立普通高校として昭和 58 年に開校しました。平成 30 年度に入学する皆さんは、36 期生となります。

開校以来、「高い知性と、すぐれた人格を備え、心身ともに健全で、人間性の豊かな人材の育成を目指す」という教育方針を掲げ、「師弟同行」の精神のもと、生徒と教員が一緒になって教育活動に取り組んできました。特に、平成 26 年度には松江東高校グランドデザインを作成し、育てたい生徒像を「自分らしいライフデザインの実現を目指す生徒」、目指す学校像を「生徒の持つ可能性の拡充に、師弟同行で挑戦する学校」と定めました。

本校では、「自己の未来を切り拓いていく力」「人とつながって生きる力」「地域社会の未来と関わる力」という 3 つの力を育てる学びに力を入れており、次のような教育活動に重点を置いて取り組んでいます。

【キャリア教育の推進】

将来、社会貢献しながらどう自分を生かしていくのかを体系的に学習します。特徴的な取組として、島根大学の教授・学生に助言を得ながら「理想の島根を考える」というテーマについてグループで考えて発表する「課題探求学習」(1 年)、東京の企業・大学や筑波の研究機構などを訪問する「研修旅行」(2 年)があります。その他、1 年次から社会人講話や大学の出張講義などを実施し、職業や学問について考える機会を設けています。

【確かな学力の育成】

月 1 回のペースで行われる ETC (East Test and Check)と呼ばれるテストを通して、英数の基礎的内容の定着を図ります。本校では、1 年生から習熟度別学級編成を行っていることに加え、学習進度に応じたコース別の授業も進めています。また、生徒による授業評価を行うことで「教える授業」から言語活動を充実させた「考える授業」へという方向性を持った授業改善に取り組んでいます。

【部活動・生徒会活動の充実】

体育系 14、文化系 11 の部・同好会に約 9 割の生徒が入部し活動しています。体育系ではバスケットボール、アーチェリー、ボートなどが毎年のようにインターハイに出場しています。その他にも剣道部をはじめ多くの運動部が県内外の大会で大いに活躍しています。また、文化系では放送・演劇・文芸・写真部門を統合した文化創造部が度々全国大会に出場し、吹奏楽・弦楽などの音楽系の部を始め、書道や美術なども多くの受賞歴があり、高い評価を得ています。

また、本校の学園祭は「東雲(しののめ)祭」といいます。文化の部・体育の部に分かれ、3 日間にわたって繰り広げられます。学校全体が一つになり、心に深く刻み込まれる数々の思い出が、この行事を通じて生まれています。

入学者選抜

一般選抜、推薦選抜、スポーツ特別推薦(男子バスケットボール、女子ボート)を実施します。

島根県立
松江工業高等学校

所　在　地：〒690-8528 松江市古志原４丁目１番10号
電 話 番 号：(0852)67-2121
ＦＡＸ番号：(0852)67-2122
Ｅ メ ー ル：matsuko-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.matsue-th.ed.jp/

設置学科 学級数

- 機械科 1 学級
- 電子機械科 1 学級
- 電気科 1 学級
- 電子科 1 学級
- 情報技術科1学級
- 建築都市工学科1学級

全校生徒数 650名(H29.5.1現在)

男子598名

女子52名

全学科に女子生徒在籍

学校の特色

修道創意

明治40年創立:工業学校修道館の伝統を受け継ぐ校訓
修道：自律自学の精神
創意：進取高邁な精神

松江工業高校は明治 40 年に創立され、平成 29 年には創立 110 周年を迎える伝統校です。卒業生は 31,000 人余りを数え各分野で活躍しています。

新校舎が完成し新しい環境のもとで「ものづくり」の基礎・基本が学べる学校です。

資格指導

希望の就職先

就職求人状況(昨年度の実績)
◆県内 209 社、318 人　◆県外 435 社、617 人

希望の進学先

本校を指定校とする学校
◆四年制大学 63 校　◆短期大学 23 校
◆専門学校等 84 校

地域産業を担うスペシャリストの育成
キャリア教育の推進

夢実現への道

職業資格取得に有利なカリキュラム
◆各種技能士 ◆二級ボイラー技士
◆電気工事士 ◆工事担任者 ◆ITパスポート
◆基本情報技術者 ◆2 級施工管理技術検定、乙種危険物取扱者など

ものづくりへの道

体験型学習「実習・課題研究」
◆最新の実習設備による実習
◆少人数指導での体験学習
◆地元企業でのインターンシップ
◆ものづくりコンテストへの参加

文武両道への道

◆運動系 15 部 ◆文化系 12 部
ソフトテニス部・レスリング部
フェンシング部
インターハイ出場
各種ロボット競技大会連続入賞
部活動加入率 85%

地域に根ざした「交流活動」

吹奏楽演奏会、幼稚園等との交流、老人ホーム清掃活動、ものづくり教室等地域との交流活動

教育目標

すぐれた知性【知】高い品性【徳】健康な身体【体】

入学者選抜

一般選抜は、全日制課程 6 学科と定時制課程 3 学科の中から第 4 志望まで志願することができます。このほかに、推薦による選抜（スポーツ特別推薦、一般推薦）を実施しています。

島根県立
松江工業高等学校
定時制課程

所　在　地：〒690-8528 松江市古志原４丁目1番10号
電 話 番 号：(0852)67-2118
ＦＡＸ番号：(0852)67-2128
Ｅ メ ー ル：matsuko-ht@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.shimanet.ed.jp/matsue-tht/

設置学科　学級数

◆機械科 1 学級　◆電気科 1 学級
◆建築科 1 学級

全校生徒数 44名(H29.5.1現在)

男子35名　女子9名

学校の特色

本校は「学びながら働きたい」と考えている人に最適な夜間定時制の工業高校です。学校は夕方 5 時過ぎから始まり、1 日 4 時間の授業を受け修業年限は 4 年です。

「わかりやすい授業」をモットーに、現在約 35 名の教職員が厚いサポート体制で指導・支援を行っています。生徒は授業を定時制の専用教室で、また実習や体育は恵まれた施設設備を全日制と共用して学習に励んでいます。

中学卒業後すぐに入学する生徒がほとんどですが、中学卒業後年数が経ってから高卒の資格の必要性を感じて入学する人や、さらには高卒・大卒者で専門教科を学ぶために編入してくる人もいます。

生徒会活動や部活動も活発に行われており、全国定時制・通信制体育大会等へは幾つもの部が出場しています。

入学について

入学する方法は次の 3 つがあります。

(1)一般入学者選抜

いわゆる高校入試を受けて入学する方法で、県下一斉に行われる学力検査を受けることになります。(国、数、社、英、理、面接試験)

(2)一般入学者選抜二次募集

一次募集の合格発表後に、定員に欠員が生じた時に実施されます。
(一般選抜学力検査結果の利用、面接試験)

(3)特別編入

既に高校の卒業資格を有する者、または平成 30 年 3 月高校卒業見込みの者が出願できます。専門教科のみを履修し、第 3 学年に編入されます。
編入試験：(面接試験)

その他

(1)教科書について

教科書代金について補助制度があります。そのためには年間 90 日以上の就業 (アルバイト含む) 証明が必要ですが、毎年多くの生徒が利用しています。

(2)給食について

週に 1 回の米飯給食と、4 回のパン・牛乳やおにぎりによる補助給食があり、希望者が始業前の時間帯で利用しています。この給食にも経費補助の制度があります。

島根県立 松江商業高等学校

所　在　地：〒690-8525 松江市浜乃木 8丁目1番1号
電 話 番 号：(0852)21-3261
F A X 番 号：(0852)21-7046
E メ ー ル：mail@matsusho.ed.jp
HPアドレス：http://www.matsusho.ed.jp/

設置学科 学級数

◆商業科 3 学級　◆情報処理科 1 学級
◆国際ビジネス科 1 学級

※1 年生はくくり募集のため、「全科」として
5 学級が同じカリキュラムで学習します

全校生徒数 579名(H29.5.1現在)

男子242名　女子337名

学校の特色

本校は、「誠実・質素・勤勉」を校訓として、高い志を掲げ心身ともに健康で、自ら学ぶ意欲と豊かな心を持った人材を育成することを教育目標としています。

1900 年(明治 33 年)に山陰初の商業学校として創立され、110 年を越える歴史と伝統を誇っています。広大でゆったりとした校舎にパソコン実習室、総合実践室など最新の優れた施設設備が整った教育環境の中で、専門的な知識・技能を習得することができます。

平成 28 年度の進路実績は、就職 42%、進学 58%で、県内外の優良企業へ多数就職し、国公立大学・私立大学・短期大学・専門学校へも多数進学しています。

部活動もとても盛んで、運動部系では県高校総体通算で、男女総合優勝 7 回、女子総合優勝 28 回を数えます。

また、文化部系では情報処理競技大会、簿記コンクール、商業研究発表大会、英語スピーチコンテストなどでの活躍もめざましく、毎年全国大会へ多数出場しています。

各学科の教育目標

【商業科】

ビジネスの基本である商品やサービスの流通について学習するとともに、経営について実務的な知識をより深く学習します。商業の役割や機能を理解し、事務処理、会計処理、仕入・販売等のビジネスの諸活動を通して地域社会に貢献できる有能な人材の育成を目指します。

【情報処理科】

現代の社会では ICT が広く活用されており、日常生活だけでなくビジネスの形態も大きく変わってきています。

情報処理科では、経営管理・簿記会計・情報技術の 3 つを学習の柱にしており、時代の変化に対応できる「経営のわかるエンジニア」「技術のわかる経営者」の育成を目指します。

IT 企業でのエンジニア(プログラマ・WEB デザイナー・アプリ開発者)、ユーザー企業での企画や事務、コンサルタントといった仕事で活躍する人材をこれまでも輩出しています。

また、理工学部(情報系)や経済学部などの大学、情報系専門学校などにも進学し、さらに学習を深めています。

【国際ビジネス科】

ビジネス社会で求められている外国語でのコミュニケーション力と簿記会計に関する知識と技術を習得するとともに、上級資格を目指し活用能力を身につけます。国際化が進む中、語学力が必要とされ、国際感覚を身につけた人材が求められています。この科では選択によって外国語の授業時間を多くし、国際社会で活躍する基礎能力を育成します。

この科の特色として、2 年生において海外修学旅行を実施し異文化交流を通して国際理解を深めています。

入学者選抜

くくり募集(学科を指定しない募集)です。(推薦選抜も含む)

学科の決定方法

1 年次は全員同じ科目を履修し、興味・関心・適性・進路の希望等を考慮し、2 年次から学科に所属します。

島根県立
松江農林高等学校

所　在　地：〒690-8507 松江市乃木福富町 51
電 話 番 号：(0852)21-6772
ＦＡＸ番号：(0852)21-6796
Ｅ メ ー ル：matsuenorinkoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.matsuno.ed.jp/

設置学科 学級数

◆生物生産科 1 学級
◆環境土木科 1 学級　◆総合学科 2 学級

全校生徒数 439名(H29.5.1現在)

男子186名　女子253名

学校の特色

明治 33 年（1900 年）に創立され、本年（平成 29 年）で創立 118 周年となりました。卒業生は約 2 万名で、農業、福祉分野だけでなく県内外の様々な分野で活躍しています。

これまで、時代の要請に応えながら学科改編を行い、現在、農業系の生物生産科、環境土木科と、総合学科（食品科学、福祉サービス、地域クリエイト系列）を設置している学校です。

本校は、生命をいつくしみ育てることを通して、「厳しさの中に優しさを持つ心」「命あるものを大切にする心」など心の教育や、農業・福祉に関する専門的な知識・技術を身に付けることで、社会に貢献できる人材の育成を大切にしてきました。

特に体験的な活動の場を重視しており、そのひとつが部活動です。ほとんどの生徒が部活動に入り、毎日熱心に励むだけでなく、気持ちのよい挨拶とふるまいに努め、来校者からも高い評価を受けています。また、本校では農業クラブや家庭クラブを通して様々な体験をし、学ぶことができます。

さらに授業の一環として、校外での活動も積極的に行っています。例えば、様々な施設へ出掛け、専門家から直接、産業・伝統文化、自然・歴史について学んだり、学校で育てた野菜・草花・加工品の販売を行っています。こうした活動を通して、教室では学ぶことのできない「人と地域のつながり」を大切にする力を育んでいます。

松江農林高校は、毎日生徒たちの明るい声がする学校です。

主な学校行事

◆体育祭（9 月に実施）
◆収穫祭（11 月に実施）
◆集団宿泊研修（1 年生の 4 月に 2 泊 3 日で実施）
◆スキー研修（2 年生の 2 月に大山で 1 泊 2 日で実施）
◆松江農林高校発表会（2 月に島根県民会館で実施）

田植え実習

進路状況

卒業生の約 6 割が大学等へ進学し、4 割が就職をします。主な進路先としては、就職では土木・建設業、製造業、サービス業を中心に 9 割以上が地元企業で就業しています。進学先としては、農業系や関連学科、看護・医療系、保育系、食物・栄養系の大学・短期大学・専門学校へ多くの生徒が進学しています。

ボランティア活動

総合学科の福祉サービス系列の選択者や農業クラブ・家庭クラブ・生徒会が企画し、市内の老人ホームや障がい者施設、保育園等に積極的に訪問し、豊かな社会体験ができます。

島根県立 宍道高等学校 定時制課程

所　在　地：〒699-0492 松江市宍道町宍道 1586
電 話 番 号：(0852)66-7577
ＦＡＸ番号：(0852)66-7117
Ｅ メ ー ル：shinjikoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.shimanet.ed.jp/shinjikoko/

設置学科 入学定員

◆普通科
〈午前部〉80名〈午後部〉40名 〈夜間部〉40名

全校生徒数 212名(H29.5.1現在)

男子90名　女子122名

学校の特色

【学ぶ意欲のある生徒が主体的に学べる学校】
平成 22 年 4 月に島根県で初の定時制課程と通信制課程を併置した単位制の高校として開校しました。

【教育目標】
調和のとれた感性豊かな人間を育成する

【教育目標達成のための指針】
◆自らを理解し、主体的に学ぶ意欲を育てる。
◆自然や文化を愛し、自分を大切にするとともに他の人を大切にする豊かな心を育てる。
◆社会とのつながりの中で自ら考え行動し、自ら律する態度を育てる。

【校訓】
発見・敬愛・自律

【学習時間帯】
本校定時制には午前部・午後部・夜間部の 3 つの学習時間帯(3 部制)があり、いずれかの部に所属して学習します。(授業は 90 分です。)

学習時間帯	学 習 時 間
午　前　部	9：10～12：30
午　後　部	13：15～16：35
夜　間　部	17：35～20：45

【単位制】
学年による区別がなく、必履修科目以外は、自分の進路希望等を考えて科目を選択し、自分の学習ペースに即した学習計画を立てることができます。

【多様な開講科目】
基礎から応用に至る科目や本校独自の学校設定科目等、多様な科目を開講します。

【少人数指導】
普通教室は 20 人程度が入れるくらいの広さで、少人数指導によるきめ細かい指導を行います。

【2学期制】
前期と後期の 2 学期制です。学期ごとに中間試験と期末試験があります。

【柔軟な単位認定】
高等学校卒業程度認定試験合格科目や各種資格検定の取得、東部高等技術校での技能連携など、学校外における学習成果を単位認定し、卒業に必要な単位数として加算します。

【修業年限3年以上】
自分が所属する「部」のみで学習することで、4 年で卒業できます。さらに、自分が所属する「部」以外の科目も受けること(＝他部履修)により、3 年で卒業することも可能です。

【卒業条件】
3 年以上在籍し、特別活動に参加し、必履修科目を含め 74 単位以上修得すると卒業できます。

【時間の有効活用】
全日制課程と比べ自分の時間が多くとれます。その時間を仕事や進学のための勉強、趣味を楽しんだり、特技を高めたりすることに活用できます。

島根県立 宍道高等学校 通信制課程

所　在　地：〒699-0492 松江市宍道町宍道 1586
電 話 番 号：(0852)66-7577
F A X 番 号：(0852)66-7117
E メ ー ル：shinjikoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.shimanet.ed.jp/shinjikoko/

設置学科 入学定員

◆普通科 300 名

全校生徒数 1,282名(H29.5.1現在)

男子748名　女子534名

学校の特色

【学ぶ意欲のある生徒が主体的に学べる学校】

◆歴史

日本の通信制教育は定時制とともに 1948 年に発足しました。島根県では、最初、松江農林高校と浜田第一高等学校（現在の浜田高等学校）に通信教育部が開設され、その後、松江農林高校から松江工業高校を経て 1955 年に松江高等学校（現在の松江北高等学校）に移管されました。浜田高等学校通信制課程は 1962 年に松江北高等学校に統合されました。そして、2010 年に松江北高等学校での募集が停止されると、島根県で初の定時制課程と通信制課程を併置した単位制の高校として宍道高等学校が開校しました。

◆教育目標

調和のとれた感性豊かな人間を育成する

◆教育目標達成のための指針

・自らを理解し、主体的に学ぶ意欲を育てる。
・自然や文化を愛し、自分を大切にするとともに他の人を大切にする豊かな心を育てる。
・社会とのつながりの中で自ら考え行動し、自ら律する態度を育てる。

◆校訓

発見・敬愛・自律

通信制課程での学習で大切な3つのポイント

◆自学自習を原則とする。
◆スクーリングに出席する。
◆計画的に学習を進め、レポートを作成し、提出する。

◆通信制課程とは

毎日登校して学習する全日制課程や定時制課程とは異なり、自宅での自学自習を主とする課程です。

◆面接指導（スクーリング）

講義形式や自習形式の授業があり、月に 2 ～ 3 日程度登校して受けます。科目の学習の他に学校行事や生徒会活動等も行われます。

◆添削指導（レポート）

教科書等による自学自習の成果をレポート作成して学校に提出します。レポートは添削後返却されます。

◆試験

年に 2 回行います。規定回数のレポートの合格とスクーリングへの出席が試験を受ける条件です。

◆修業年限 3 年以上

3 年で卒業することが可能です。

◆卒業条件

3 年以上在籍（前籍校を含む）し、特別活動に 30 単位時間以上出席し、必履修科目を含め 74 単位以上修得すると卒業できます。

◆時間の有効活用

全日制課程と比べ自分の時間が多くとれます。その時間を仕事や進学のための勉強、趣味を楽しんだり、特技を高めたりすることに活用できます。

島根県立 大東高等学校

所　在　地：〒699-1251 雲南市大東町大東 637
電 話 番 号：(0854)43-2511
ＦＡＸ番号：(0854)43-2512
Ｅ メ ー ル：daito-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.daito-h.ed.jp/

設置学科 学級数

◆普通科 3 学級

全校生徒数 323名(H29.5.1現在)

男子164名　女子159名

学校の特色

勉強 × 部活動 × 地域活動の三道

島根県は高齢化、過疎化の最先進県です。地域の課題を見つけることは日本、そして世界のこれからの課題を見つけることにも直接つながっていきます。文武両道をベースとしながら、地域に積極的に飛び込み、地域のさまざまな人との関わりを通して自分の進むべき道を見つけていく。それが今の大東高校です。これから求められる力は、自分の頭で考え、目指すものを見つけ、答えが一つに定まらない問題に向かっていこうとする力です。雲南市にはそのような力を育ててくれる場がたくさんあります。

【学力を鍛える】

生徒の多様な進路希望の実現のために、標準クラス2 クラスと特別進学クラス1クラスのクラス編成を行います。2 年次からは文理コースに分かれ、3 年次には文系コースがさらに 2 つのコースに分かれ、それぞれの生徒の進路希望に添ったカリキュラムが組まれています。

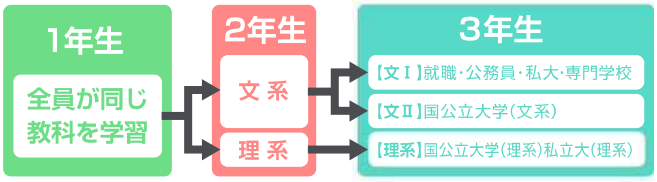
2タイプのクラスと3つのコースで多様な進路希望に対応

【クラス編成】標準クラスと特進クラスを設置

標準クラス(2 クラス)
生徒一人ひとりの目標・適性に応じた指導を行い、多様な進路目標に対応します。

特進クラス(1 クラス)
国公立大学や難関私立大学への進学を目標とし、1年次から大学進学に向けた指導を行います。

【コース編成】



【心身を鍛える】

部活動への加入率は毎年 9 割を超えます。県総体(B グループ)ではH27 年男女総合 3 位、H28 年、H29 年は同 2 位を果たしています。H29 年春は中国大会へ剣道、空手道、バドミントンが出場。そして空手道、バドミントンはインターハイへ。また野球部は昨年春の大会で準優勝，夏の山陰大会で準優勝。甲子園を目指して学校・地域全体で盛り上がりを見せています。美術部も全国総文祭への出品が決定。地域文化部、生徒会なども地域と関わりながら意欲的に活動しています。

【地域とつながる】

地域の課題解決に主体的に取り組む「マイプロジェクト」、小学校や中学校に出向いての「交流授業」、社会人、大学生との対話を通して自分の未来を考える「幸雲南塾」、そして「ボランティア活動」など地域を舞台にさまざまな活動が用意されています。いろんな人との出会いを通して、自分の進みたい道がきっと見えてきます。

大東高校マスコット「オリベちゃん」

リボンは大東の D をシンボル化、校歌や制服模様を織り込んでいるほか、「元気さ」「人と人のつながり」などがイメージ化されています。

島根県立 横田高等学校

所　在　地：〒699-1821 仁多郡奥出雲町稲原 2178-1
電 話 番 号：(0854)52-1511
ＦＡＸ番号：(0854)52-1512
Ｅ メ ー ル：yokotakoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.yokota.ed.jp/

設置学科 学級数

◆普通科 3 学級

全校生徒数 257名(H29.5.1現在)

男子121名　女子136名

学校の特色

横田高校は大正 8 年に創立され、平成 31 年に創立 100 周年を迎える、伝統を誇る高校です。地域からの期待は大きく、奥出雲町と連携した横田高校魅力化事業を実施し、未来に向けての持続可能な共生社会をつくるために、「人つなぎ・人づくり」の拠点となる学校づくりを行っています。

★1年次は共通、2年次からは、進学コースか総合コースを選択。

国公立大学、私立大学、医療系、各種専門学校や民間就職、公務員など、生徒の進路希望が幅広いのが、横田高校の特徴です。1 年次は 3 クラスで共通カリキュラムを学び、2 年次からは進学コースと総合コースに分かれ、進路希望に応じたカリキュラムを学びます。1 学年 3 クラスの高校だからこそ、一人一人に目が届くきめ細やかな少人数指導ができます。

【総合コース】

多くの選択科目を設け、さまざまな進路希望に対応しています。また資格取得や職場体験にも力を入れ、実社会で生きる力の育成をめざします。

【進学クラス】

国公立大への進学を中心に、文系・理系志望別の少人数指導などそれぞれの進路実現のための徹底した受験指導を行います。

★コース別にきめ細やかな進路指導

就職
◆面接練習・作文指導など徹底した個人指導
◆地元の企業家を招いてのガイダンス など

進学
◆教員とのマンツーマンの個別添削指導
◆文系・理系志望別の少人数授業

★全国一のある部活動

ホッケー部はこれまで、男女あわせて過去 23 回の全国大会優勝など金字塔を打ち立ててきました。卒業生からは多くのオリンピック選手を輩出しています。また、剣道部は県内屈指の強豪校として知られています。ほか、美術部、華道部、吹奏楽部など文化部の活動も盛んに行われています。

★生徒が輝ける様々な活動

【地域連携活動】

◆1年次：プロジェクト学習「奥出雲学」
観光や空き家対策など奥出雲町内の取り組みを中心にフィールドワークを実施し高校生の視点から何ができるかを提案します。

◆2年次：仮想会社「だんだんカンパニー」
総合コースは商品の生産・製造・販売やマーケティング活動を生徒自ら行う起業体験プログラムを実践し、東京で開発した商品を販売します。進学コースはより実践的な課題研究を行い東京で大学生を前に発表を行います。

【海外派遣・留学生の受け入れ】

世界を舞台に活躍する人材の育成を目的に、海外留学生の受け入れに加え、平成 29 年度はアメリカに数名の生徒が派遣されます。

島根県立 三刀屋高等学校

所　在　地：〒690-2404 雲南市三刀屋町三刀屋 912-2
電 話 番 号：(0854)45-2721
ＦＡＸ番号：(0854)45-5630
Ｅ メ ー ル：mitoya-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.mitoya-hs.ed.jp/

設置学科　学級数

◆総合学科 4 学級

全校生徒数 423名(H29.5.1現在)

男子191名　女子232名

学校の特色

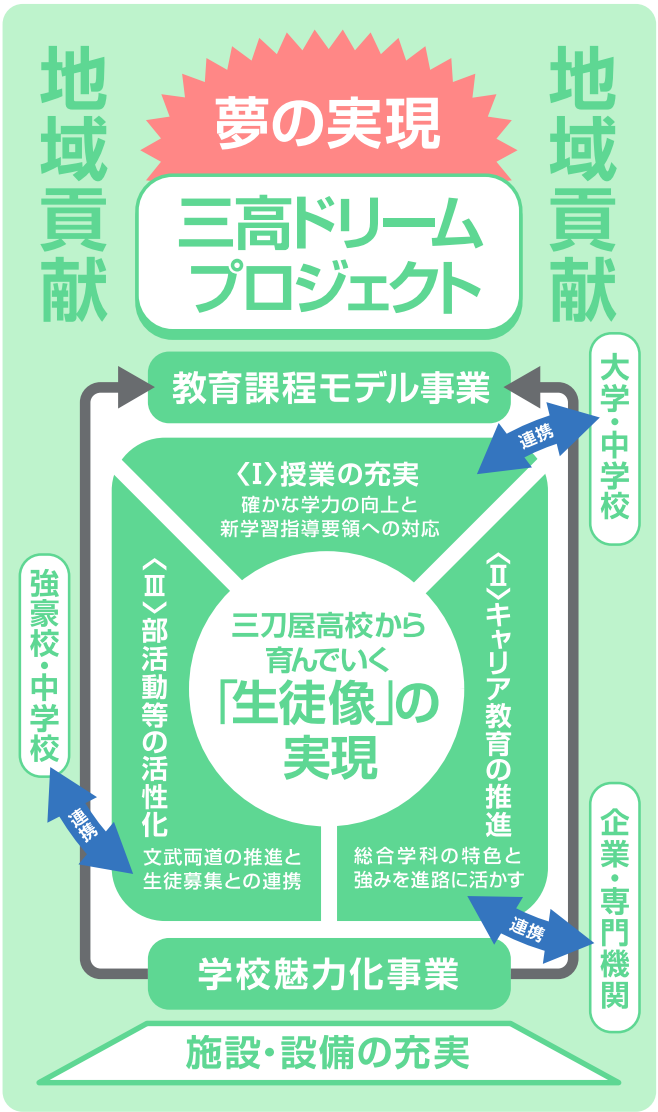
本校の総合学科は県内の他の総合学科と異なり、普通科を進化・発展させたものであり、上級学校への進学や就職など多様な進路に対応して、少人数指導や幅広い選択科目を設けています。平成 24 年度には、「キャリア教育優良学校文部科学大臣賞」を受賞するなど、キャリア教育のリーディングスクールとして県内外からも注目されています。

入学者選抜について

入学して男子ソフトボール部で活躍したい人を対象とした、スポーツ特別選抜(4 名以内)と、その他の部活動および勉学に意欲的に取り組みたい人を対象にした、推薦選抜を導入しています。

女子ソフトボール部県高校総体優勝

三刀屋高等学校 魅力化計画



三刀屋高校は「教育の魅力化」により4つのことを実現します。

① 「確かな学力」を持って生徒の本当に行きたい進路の実現
② 「思考力・判断力・表現力」を養えるリーディングスクールの実現
③ 地域に開かれた(社会に開かれた)学校の実現
④ 市内・市外の中学生から選ばれる学校の実現

島根県立 三刀屋高等学校 掛合分校

所　在　地：〒690-2701 雲南市掛合町掛合 3601
電 話 番 号：(0854)62-0084
ＦＡＸ番号：(0854)62-0080
Ｅ メ ー ル：kakeya-bunko@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.shimanet.ed.jp/kakeya/

設置学科 学級数

◆普通科 1 学級

全校生徒数 81名(H29.5.1現在)

男子42名　女子39名

学校の特色

国道 54 号線に沿った雲南市に位置する掛合町の佐中の地に、昭和 28 年に地元の強い要望によって設立された学校です。当初は、定時制課程農業科と家庭科として設置、昭和 38 年より全日制課程普通科となって今日に至っています。

在校生は、地元掛合・吉田のほか、三刀屋や木次から通学する生徒が大半ですが、近年は大東や加茂、さらに奥出雲町からの通学生もあり、広範囲にわたる地域の生徒たちが、お互いの人格を認めながら高め合っています。

校訓「志操堅固」

教育目標

◆真理を希求し、自ら道を拓いていく自主的精神を持つ人間の育成
◆意志強固にして、勤勉努力する実践的人間の育成
◆社会性と敬愛共同の精神を持つ人間の育成

その他

【教育課程の工夫】

生徒の進路志望に沿い、就職志望者を対象とした「ビジネス情報」などコンピュータ実習を中心とする専門科目を取り入れ、資格取得に取り組んでいます。また、「子どもの発達と保育」「フードデザイン」など保育・調理系への進学志望に対応した実習が十分にできる教育課程を編成しています。

【ICTを活用した授業】

教室に大型テレビモニター、タブレット端末など情報機器を導入し、動画、インターネットの情報、デジタル教科書などを活用し、わかりやすい授業を提供します。

【個別指導】

進学を志望する生徒には、個人指導や長期休業中に特別指導を行っています。

【教科以外の活動】

①ボランティア活動

豊かな人格形成や感性を磨くため、一人一人がボランティア実践を目指して、地域施設の環境整備等の自主的な活動を推進しています。また、生徒会を中心に老人施設や保育所の訪問、小学校での絵本の読み語り等も活発に実施しています。

②総合実習

平成 29 年度のカリキュラムは以下のとおりです。

1 年	地域理解学習	農業体験
2 年	海外研修事前事後学習	職場体験
3 年	地域貢献学習	卒業研究

③海外研修旅行

平成 10 年度より、国際社会に対応できる能力と、互いを認め特徴を生かし合い、共同して課題を解決する資質や能力及び態度・意欲を持ってもらうように、シンガポール・マレーシアへの海外研修旅行を実施しています。

【四校連携事業】

(掛合地区の保育所、小学校、中学校、分校)
◆掛合町清掃活動(ごみゼロ大作戦)
高校生が、小学生・中学生をリードしながら清掃活動を行っています。

【寮について】

女子寮があります。
(定員 13 名 土・日・祝日及びその前日は閉寮)

島根県立 飯南高等学校

所　在　地：〒690-3401 飯石郡飯南町野萱 800
電 話 番 号：(0854)76-2333
F A X 番 号：(0854)76-2344
E メ ー ル：iinankoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://iinan. ed.jp/

設置学科 学級数

◆普通科 2 学級

全校生徒数 186名(H29.5.1現在)

男子112名　女子74名

学校の特色

飯南町のほぼ中央に位置し、雄麗な琴引山をのぞむ国道 54 号線沿いの高台にある中山間地の小規模校です。小規模校ならではの「顔のみえる関係」を生かし、小さくともキラリ！と光る教育を展開しています。

校訓 自律・友愛・進取・創造

教育目標

◆自らの人生を主体的に切り拓く力を育成する
◆活力ある地域･社会づくりに貢献できる人材を育成する

【特色】

◆中高一貫教育(連携型)導入(平成 13 年度から)
頓原・赤来両中学校との連携
◆きめの細かい学習指導と進路指導
◆国際交流体験学習の実施(1 年生)
◆「生命地域学」(主なもの)
郷土芸能教室(1 年生)
福祉施設や地元企業の視察と実習(2 年生)
郷土料理教室(2 年生)
島根県中山間地域研究センターでの地域学習(2 年生)
福祉体験学習(3 年生)
課題研究(3 年生)

その他

①教育課程の工夫

◆少人数、習熟度別授業 国語・数学・英語で実施
◆コース選択 2 年生より Ⅰ型(就職等志望)、Ⅱ型(進学志望)を選択
◆ビジネス教育の充実 2・3 年生(Ⅰ型)
◆学校設定教科「生命地域学」2・3 年生(Ⅰ型)

②中高一貫教育の実施

数学、英語を中心とした TT 授業を通して中高の教科指導の連携を行い、学力の向上を図ります。
学校行事や生徒会行事、ボランティア活動、部活動等の交流もしています。

③地域をフィールドとしたキャリア教育の充実

「生命地域学」や「総合的な学習の時間」において、活力ある社会づくりに貢献できる力を養います。

④国際交流体験学習(台湾)の実施

台北市内での研修の他に、現地高校を訪問して交流を深め、国際的視野に立って物事を考える基礎を養います。
(1 年生、3 泊 4 日)

⑤ICT機器の整備

各教室にプロジェクター、実物投影機、ホワイトボードが整備されています。

⑥進路状況

〔進 学〕国公立大学、私立大学、短期大学、専門学校
〔就 職〕県内外の企業に幅広く就職

⑦取得できる資格

漢字能力検定(3・準 2・2 級)、英語検定(3・準 2・2 級)
書写検定(3・2・1 級)、情報処理検定(全商協会 3・2 級)
ビジネス文書実務検定(全商協会 3・2・1 級)
簿記検定(全商協会 3・2 級)

⑧寮

男女の寮完備

島根県立 平田高等学校

所　在　地：〒691-0001 出雲市平田町１
電 話 番 号：(0853)62-2117
ＦＡＸ番号：(0853)62-0020
Ｅ メ ー ル：hiratakoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.hirata-h. ed.jp/

設置学科　学級数

◆普通科４学級

全校生徒数　477名(H29.5.1現在)

男子233名　女子244名

学校の特色

本校は出雲平野と宍道湖を一望できる平田町の愛宕山にあり、平成 28 年には創立 100 周年を迎えました。広い敷地と豊かな自然環境のもと、落ち着いた学校生活を送ることができます。

生徒諸君は、「文武両道」をモットーとし、学習はもちろんのこと、部活動や学校行事等、何事にも実に前向きに積極的に取り組んでいます。そして、生き生きとした笑顔で爽やかな挨拶を交わし、学校全体が活気に満ちあふれています。

入学者選抜

一般選抜及び推薦選抜を実施しています。推薦選抜では、将来への目標を持ち意欲的に勉学に取り組みたい生徒や向上心を持ち真剣に部活動に取り組みたい生徒を対象としています。

学校生活

①学習及び進路

１年生は全員が共通の科目を学びます。２年生からは将来の進路希望や自己の適性に合わせて文系と理系のコースに分かれます。

３年生になると、国公立大学文系・理系希望、私立大学・専門学校希望などのより具体的な進路希望に分かれて必要な科目を選択し学習します。

卒業後は、約 95 ～ 97%が上級学校に進学します。進路希望を実現するために、各教科においては補習授業も行っています。また、適宜模擬試験（学力テスト）を実施し、学力向上に役立てています。

②学校行事や生徒会行事

平田高校の最大のイベントは学園祭である「鈴懸祭」です。学年の枠を越えて協力し、絆を深めていきます。クラス対抗の合唱コンクールや出店、文化部の展示・発表、ダンスや名人芸の披露もします。最終日には体育祭で燃え、最高の学校生活の思い出となります。

その他にも、球技大会や遠足、研修旅行等を行っています。

③部活動

本校は部活動がとても盛んです。全校生徒の 90%近くが加入し、文武両道に努めています。

体育系では、柔道部は毎年インターハイに出場し、個人では全国優勝を果たしたり、過去には世界大会に出場したりもしています。また、陸上競技部は全国高校駅伝大会に 6 年連続出場しています。

文化系では、放送部、JRC 部、文芸図書部等が全国コンクールや交流会へ県代表として参加しています。

その他、テニス、剣道、卓球が中国大会に出場しています。

④特色ある取組

自己指導能力の育成を目的に、キャリア教育を充実させています。2 泊 3 日の研修旅行、職業人講演会、地元企業ガイダンス、上級学校訪問、保育・看護インターンシップなど実践的・体験的な活動を行っています。

また地域の人達との交流も盛んで、木綿街道でのイベント参加や郷土の無形文化財である「平田一式飾り」の学園祭時の製作、秋には地元地域での奉仕活動を行っています。

島根県立 出雲高等学校

所　在　地：〒693-0001 出雲市今市町 1800
電 話 番 号：(0853)21-0008
F A X 番 号：(0853)22-7855
E メ ー ル：izumokoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.izumo-hs.ed.jp/

自然科学部のドローンで撮影

設置学科 学級数

◆普通科 7 学級　◆理数科 1 学級

全校生徒数 958名(H29.5.1現在)

男子476名　女子482名

学校の特色

出雲高校は「**自主自立の精神**に富んだ、気品高き自治の学園」を目指している、創立 90 年を超える伝統をもつ学校です。また、職員、校友が相むつみ合う、**友愛協和**の学園でもあります。毎日の生活が活力に満ち、心の触れ合う高校生活になるよう、目標を定めてその実現に励んでいます。

学習に全力を注ぐのは当然ですが、約 90%の生徒が部活動に入っていて「**文武両道**」をモットーに意欲的に活動しています。その結果、大学等の進学実績はもちろん、スポーツに、文化活動に数々の成果を収めています。

長い歴史を誇る本校には校地内全体に種々の樹木や草花が植えられた学校植物園「平田植物園」、裏山の庭園「久徴園」、その頂上には出雲市内を見渡すことができる展望台等があり、自然環境にも恵まれ、静かな落ち着いた雰囲気の中で生徒は様々な活動に励んでいます。

このような校風・環境の中で、誠実・勤勉にして社会的秩序を重んずる精神を養い、「地域・社会のリーダーとして貢献できる人材」の育成に努めています。

学校の状況

①施設設備

平成 18 年度に新校舎が完成し、授業で使用するほぼすべての教室に冷暖房が完備され、年間を通じて快適な環境の中で授業を受けることができます。体育施設も 2 つの大きな体育館と 2 つの広大なグランド、照明施設のあるテニスコート、弓道場など、とても充実しています。

②学習・進路

25 年度から文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールに指定されていますが、26 年度からは、スーパーグローバルハイスクールの指定も受けました。1・2 年次を中心にディベートやプレゼン、グループ研究等の探究的な学習に取り組んでいます。また教科の学習にも意欲的に取り組み、ほとんどの生徒が大学に進学して、各界のリーダーとして活躍しています。

③部活動

野球部が平成 28 年度夏の甲子園大会に初出場しました。また、全国選抜大会優勝を誇る弓道部、中国大会常連の吹奏楽部・コーラス部や、サッカー部、陸上競技部、剣道部など多くの部活動が各種の大会で好成績を収めています。新聞部や美術部の活動も活発ですし、ラグビー部・囲碁将棋部という県内では珍しい部活動もあります。そして、平成 26 年度の県総体では念願の男女総合優勝を果たしました。

④行事等

学園祭（久徴祭）は例年 8 月末～ 9 月初めに行われます。最終日の体育祭は出雲ドームで行っています。遠足は春・秋、球技大会も 1 学期・2 学期のそれぞれ 2 回ずつ行われます。10 月には、1 年生全員が関西に、2 年生理数科は海外に研修旅行に出かけます。また 2 年生普通科（希望者）の海外研修も実施しています。

島根県立 出雲工業高等学校

所　在　地：〒693-0022 出雲市上塩冶町 420 番地
電 話 番 号：(0853)21-3131
ＦＡＸ番号：(0853)21-7543
Ｅ メ ー ル：izumokogyo-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.izumo-th.ed.jp/

設置学科 学級数

- 機械科　1学級
- 建築科　1学級
- 電気科　1学級
- 電子機械科　1学級

全校生徒数 456名(H29.5.1現在)

男子407名

女子49名

学校の特色

(1)校訓「誠実」「進取」「勤勉」

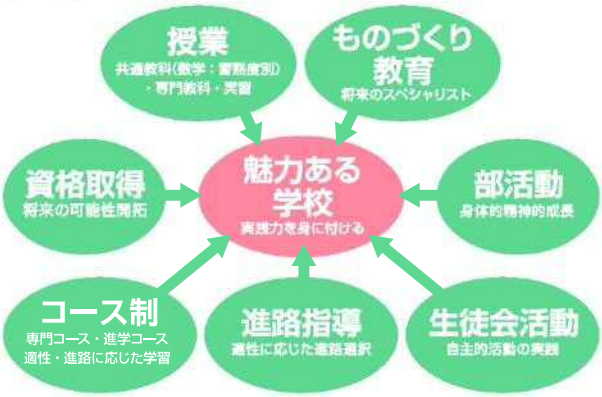
(2)求める生徒像

ものづくりのスペシャリストの育成をめざして

○工業の分野に関して興味・関心を持ち、知識、技術及び技能の習得に誠実に取り組み、ものづくりを通して旺盛な探究心や積極性を発揮できる人。

○高校生活に明確な目標を持ち、学習や部活動等何事にも意欲的に取り組むことができる人。

【教育活動】



【推薦入学制度】

各科定員の 40%程度を推薦入学によって募集しています。部活動や学力による推薦選抜を実施しています。

【資格取得】

在学中に資格が取得できるよう力を入れています。主な取得可能な資格は次のとおりです。

- ガス溶接技能士
- 乙種危険物取扱者
- 第二種電気工事士
- 電気通信工事担任者
- 2 級建築施工管理技士
- 二級ボイラー技士
- 第一種電気工事士
- 第三種電気主任技術者
- 2 級電気工事施工管理技士

【進路状況】

概ね就職者が 80%、進学者が 20%の割合です。学校に対する企業の評価は高く、就職内定率は毎年100%に達します。県内就職の割合が 7～ 8 割で、地元産業の発展に貢献しています。

【地域交流とボランティア活動】

学校近くの幼稚園・保育園、スポーツ少年団との交流など幅広く活動を行っています。

【部活動】

部活動はとても盛んで、陸上競技部・自転車競技部・アーチェリー部・弓道部・柔道部・空手道部・ものづくり研究部など、全国大会に出場する部も多くあります。

島根県立 出雲商業高等学校

所　在　地：〒693-0011 出雲市大津町 2525
電 話 番 号：(0853)21-0016
F A X 番 号：(0853)21-0228
E メ ー ル：izumoshogyo-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.shimanet.ed.jp/izusho/

設置学科 学級数

◆商業科 3 学級　◆情報処理科 1 学級

全校生徒数 456名(H29.5.1現在)

男子131名　女子325名

学校の特色

(1)教育目標

◆実学を重んじ、自ら学び社会の変化に対応できる人間を育成する。
◆思いやりのある心をもち、個性豊かで、健康でたくましく生きる人間を育成する。
◆ビジネスの心を学び、真理を求める人間を育成する。

(2)歴史

平成 29 年度に創立 100 年を迎えます。卒業生は現在まで約 18,000 名、県内外の産業界を中心に活躍しています。

学校の紹介

【学科の特色】

◆商業科

商業に関する総合的な知識と技術を学びます。2 年次から興味・関心のある科目を選択し、商業の学習分野を深めます。

◆情報処理科

ビジネス情報分野・会計分野を中心に、実務に対応した知識と技術を学びます。1 年次からの計画的・段階的な学習により、高度な資格取得が可能です。

【資格取得】

①全国商業高等学校協会主催各種検定試験珠算・電卓、簿記、ビジネス文書、商業経済、情報処理、ビジネスコミュニケーション、英語
②日本商工会議所主催 簿記検定試験
③経済産業省主催各種検定試験（国家試験）IT パスポート、基本情報処理技術者

【進路状況】

進学希望者は約 60%で、大学・短期大学・専修学校・各種学校に進学しています。就職希望者は約 40%でほとんどが県内就職です。就職内定率は、毎年ほぼ 100%を達成しています。

【部活動～近年の活躍～】

平成 28 年度に体育系では剣道部が全国大会に、陸上部・ソフトテニス部・バドミントン部・弓道部が中国大会に出場しています。文化系では、珠算部・簿記部・ワープロコンピューター部が全国大会に、吹奏楽部・経済調査部が中国大会に出場しています。

【商業高校らしい活動】

①ビジネスマナーを学び、社会で必要とされる基本的なマナーを実践し、身に付けます。
②体験型販売実習「出商デパート」を開催し、商業科目で学んだ内容、仕入・広告・販売・商品管理・接客・経理等の実践学習をします。

島根県立 出雲農林高等学校

所　在　地：〒693-0046 出雲市下横町 950 番地
電 話 番 号：(0853)28-0321
ＦＡＸ番号：(0853)28-0355
Ｅ メ ー ル：izumonorin-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.izuno.ed.jp/

設置学科 学級数

- 植物科学科 1 学級
- 環境科学科 1 学級
- 食品科学科 1 学級
- 動物科学科 1 学級

全校生徒数 478名(H29.5.1現在)

男子170名　女子308名

学校の特色

(1)校訓

耕魂・育命…生命を育て、自らの魂を耕せ

(2)学習の特色

①基礎・基本の確実な習得

「学び直し」の学習を取り入れ基礎学力の定着を図るとともに、漢字検定、農業技術検定全員受検を実施するなど、基礎・基本を確実に身に付けます。

②体験活動の充実

実験や実習やインターンシップで体験的・実践的に学びます。自らプロジェクト学習に取り組み、卒業論文を作成するなど研究的に学びます。

③自己学習力の育成

自ら読む・まとめる・聞く・発表する機会を確保し、学習の仕方や問題解決能力を養います。

農業分野への就職・進学

課題研究

専門科目
(各分野の専門学習)
草花、作物、植物バイオ、測量、造園計画、農業土木設計、食品製造、食品化学、微生物基礎、アニマルケア、畜産、動物バイオなど

総合実習
繰り返して習得する体験学習

普通科目
(教養を高める学習)
国語、地歴、公民、数学、理科、英語、家庭、保健体育、芸術

農業と環境 ミニプロジェクトなどを体験しながら動植物を育てたり、環境について学習する

(3)部活動

統一スローガン「見つけよう自分の力の可能性」のもと、各部が中国大会、全国大会を目指しています。(ウエイトリフティング部やカヌー部、出農太鼓部が全国大会常連です。)

(4)学校行事

1学期は 6 月中旬に、市民会館にて「出雲農林発表会」で学習・農業クラブ活動の成果発表を行い、8 月末の体育祭は出雲ドームで開催します。また、最大の発表会は 11 月中旬に学校挙げて、毎年好評の「農業祭」を開催します。

各学科が目指す進路と資格取得

各学科の専門に応じた進路を目指し、就職が約 50%（県内企業が 9 割以上）、進学が約 50%で地元の国公立４年制大学や短大、専門学校をはじめ、県外の学校へも進みます。

学科名	資格取得
植物科学	◆初級バイオ検定　◆危険物取扱者(丙種・乙種) ◆小型車両建設機械　◆フラワー装飾技能検定
環境科学	◆測量士補　◆土木、造園施工技術者　◆アーク溶接 ◆小型車両建設機械　◆クレーン、ローラ運転業務
食品科学	◆危険物取扱者(丙種・乙種)　◆2級ボイラー技士 ◆食生活アドバイザー　◆文書処理検定
動物科学	◆愛玩動物飼育管理士(二級、準二級) ◆危険物取扱者(丙種・乙種)　◆初級バイオ検定等

H28 年度の主な実績(延べ人数)

漢字検定 3 級…77 名：準 2 級…5 名、数学検定 3 級…31 名：準 2 級…31 名、英語検定 3 級…49 名、測量士補…12 名、日本農業技術検定 2 級…1 名、危険物取扱者乙種第 4 類…3 名、バイオ初級…23 名、フラワー装飾 3 級…5 名、英検準 2 級…1 名、愛玩動物飼養管理士…21 名、食生活アドバイザー 2 級…3 名、食生活アドバイザー 3 級…56 名、文書処理 3 級…78 名、土木施工管理技術者 2 級…8 名

ブドウの収穫作業

島根県立 大社高等学校

所　在　地：〒699-0722 出雲市大社町北荒木 1473
電 話 番 号：(0853)53-2002
F A X 番 号：(0853)53-2244
E メ ー ル：taisyakoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.taisha.ed.jp/

設置学科 学級数

◆普通科 6 学級　◆体育科 1 学級

全校生徒数 803名(H29.5.1現在)

男子378名　女子425名

学校の特色

大社高校は、明治 31 年(1898 年)に創立され、平成 30 年 (2018 年) に 120 周年を迎える伝統ある学校です。本校では、「郷土に思いをいたし、こころ豊かで、たくましく生き抜く実践力ある人材を育成する」を教育目標としています。なお、平成 29 年度の到達目標スローガンは「自立 協働」です。

(1)全国に誇る体育科

昭和 48 年(1973 年)に設置された体育科は、島根県内で唯一の存在で、学校体育及び社会体育の指導者を数多く輩出しています。普通教科の他に体育に関する専門科目があり、キャンプ・水泳・スキー・スケートなどの校外実習も行います。

(2)進路指導

生徒のほとんどが進学を希望しています。卒業生記念館「有朋舘(ゆうほうかん)」では、平日・休日を問わず、3 年生を中心に多くの生徒が自学自習に励み、進路目標の達成を目指しています。

平成 18 年(2006 年)全ホームルームにクーラーが設置され、快適な環境の下で学習に取り組むことができるようになりました。

(3)「教育課程実践モデル事業」で授業改善

平成 29 年度から 2 年間、「教育課程実践モデル事業」の指定校となり、授業改善を推進中です。初年度は「生徒の主体的・能動的な学び」を授業の中でどう実践していくかをテーマに、先進の講師を招いて本校教職員自身が研修し、主体的、対話的で深い学びとなる授業を試みています。

(4)特色ある年間行事

①1 年大山宿泊研修(2 泊 3 日)
専門のインストラクターの指導で、スキーの技術が驚くほど上達するうえ、クラスに一体感が生まれます。

②学園祭「鹿城祭(ろくじょうさい)」
文化祭では、合唱コンクール、クラス出し物、文化系部活動の発表・展示、講演会などが開催されます。体育祭は競技のほかに応援合戦もあり、大いに盛り上がります。

(5)部活動でも文武両道を実践

部活動には約 90 パーセントの生徒が入部し、勉学との両立を図りながら活動しており、平成 29 年度は 5 年ぶりに県高校総体で男女総合優勝を果たしました。陸上競技部・剣道部・体操部・水泳部はコンスタントに全国総体、国体、選抜大会に出場しています。平成 27 年度には、サッカー部が全国高校選手権大会に、女子バレー部は全国総体と春高バレーの両方に出場しました。野球部は平成 25・27 年度秋季県大会で優勝しました。また、ダンス部は「全国高校ダンスドリル大会」に 8 年連続で出場し、地域のイベントへの出演依頼が途切れません。

文化部の取組も熱心で、全国総文祭をはじめ全国規模の大会に美術部などが毎年出場しています。合唱部は平成 28 年度に全日本合唱コンクール全国大会に初出場しました。吹奏楽部も県内に誇る成績を上げるなど、文武両道を実践しています。

最近では、平成 28 回読書感想画中央コンクールで西田光希君が文部科学大臣賞を受賞、第 2 回アジアユース陸上競技選手権の 100mハードルで長﨑さゆりさんが銀メダルを獲得しました。

第 25回全国高等学校剣道選抜大会で女子準優勝(H28年3月)

島根県立 大田高等学校

所　在　地：〒694-0064 大田市大田町大田イ 568
電 話 番 号：(0854)82-0750
ＦＡＸ番号：(0854)82-1333
Ｅ メ ー ル：odakoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://ohda-hs.ed.jp/

平成 27 年 7 月に完成した新校舎

設置学科 学級数

◆普通科 3 学級 ◆理数科 1 学級

全校生徒数 385名(H29.5.1現在)

男子193名　女子192名

学校の特色

本校は大正10年に島根県立大田中学校として発足して以来、90年余の歴史を刻んできた伝統ある学校です。創立以来、本校には勉強だけでなく部活動を始めとする様々な活動に積極的に参加する気風があり、文武両道を追求する姿勢は現在も脈々と受け継がれています。

学校の紹介

(1)学校の様子

本校の生徒は学校の内外を問わず挨拶をよくすることで評判で、明るい雰囲気の中、学習や部活動に熱心に取り組んでいます。また、校舎は秀峰三瓶山のふもと旧制中学の跡地である大田の街の中にあり、地域にとけ込んだ好環境にあります。

(2)学校の特色

普通科	1年次は幅広く学び、2年次より個々の進路に応じて文系・理系に分かれます。さらに、文系は3年次に国公立大学進学に対応したコースと公立大、私大、短大、専門学校、就職の進路に対応したコースを選択できます。
理数科	理科、数学の関心を高めるカリキュラムが組まれています。つくば研修では最先端の技術に触れます。また課題研究ではグループごとにテーマを設定して、検証し結論を導きます。理系、文系いずれにも進学できます。

(3)進路

生徒の多くは、4年制大学、短期大学、専門学校といった上級学校への進学を目標としています。就職希望者も、公務員や一般企業への就職を目指して日々努力をしています。また、職業人講話や大学の模擬授業等を通して、しっかりとしたキャリアプランを身につけていくことができます。

(4)部活動の活躍

全校生徒の約9割が部活動に加入して活発に活動しています。

過去5年間の中国大会出場部

運動部	◆弓道部 ◆柔道部 ◆剣道部 ◆卓球部 ◆ソフトテニス部 ◆テニス部 ◆陸上競技部
文化部	◆吹奏楽部 ◆囲碁将棋部[囲碁、将棋] ◆写真部

過去5年間の全国大会出場部

運動部	◆弓道部 ◆柔道部 ◆剣道部 ◆陸上競技部
文化部	◆文芸・報道部[文芸部門、新聞部門] ◆写真部 ◆美術部 ◆囲碁将棋部[囲碁、将棋]

昨年度は写真甲子園で全国優勝、はんが甲子園で全国入賞を果たすなど、多くの部活動が活躍しています。

(5)学校行事

遠足、球技大会、校内ロードレース大会、寒稽古(1年生)と年間を通じて各種の行事があります。とりわけ、9月初めの「大高祭」と呼ばれる学園祭は最終日の体育祭を含め3日間にわたって開催される一大イベントです。これらの行事を通じて、生徒たちは友情を深め団結力を育むとともに、よき思い出を心に残しています。

企業訪問「働く人に出会おう」の振り返り

島根県立 邇摩高等学校

所　在　地：〒699-2301 大田市仁摩町仁万 907
電 話 番 号：(0854)88-2220
ＦＡＸ番号：(0854)88-4417
Ｅ メ ー ル：nimakoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.nima.ed.jp/

設置学科 学級数

◆総合学科 3学級

全校生徒数 296名(H29.5.1現在)

男子153名　女子143名

学校の特色

(1)伝統精神

勤労・創造・仁心

(2)教育目標

①知性を深め創造性を高めよう。
②情操を豊かにし正しい生活習慣を身につけよう。
③心身を鍛え自信と根気を持とう。
④勤労の喜びを味わい職業観を養おう。

【本校総合学科の特長】

①幅広い選択制
②豊富な体験的学習活動
③少人数・専門的授業
④2 学期制
　前期：4 月～9 月　後期：10 月～3 月

【進路選択のための5系列】

系　列	学習内容等
ビジネス	情報・簿記・流通・会計の学習
農　業	農業生産、食品製造の学習
生　活	食物・被服・保育の学習
文　化	普通教科中心の学習
福　祉	社会福祉・介護の学習

【特色ある教育課程】

①多様な選択教科・科目

1 週間に30 時間の授業の内、次の時間を自分で選択します。

学年	総合・自由選択教科の科目	
1 年	2 時間	6 科目
2 年	18 時間	39 科目
3 年	22 時間	56 科目

②科目の選択により取得できる主な資格

文化	◆英語 ◆漢字検定
農業	◆危険物取扱者（乙丙種）◆毒劇物取扱者 ◆小型車両建設機械 ◆2 級ボイラー技士 ◆ガス溶接技術者 ◆日本農業技術検定2～3級 ◆食生活アドバイザー3 級
ビジネス	◆全商検定簿記 ◆珠算・電卓 ◆情報処理 ◆ビジネス文書1～2 級 ◆日本商工会議所検定簿記 ◆珠算2～3級
生活	◆全国高等学校家庭科技術検定食物調理 ◆被服製作（和裁、洋裁） ◆保育技術（音楽・リズム表現、言語表現、造形表現、家庭看護）1～4 級
福祉	◆介護職員初任者研修課程 ◆あいサポーター ◆認知症サポーター ◆普通救命講習Ⅰ ◆福祉住環境コーディネーター3 級

特色ある教育活動

①邇摩高フェア(春、夏、冬)
②アンバサダー事業(出前授業)
③課題研究発表会　④仁摩健康公園花時計の植替え
⑤進路ミュージカル　⑥三瓶宿泊研修

島根県立
島根中央高等学校

所　在　地：〒696-0001 邑智郡川本町川本 222
電 話 番 号：(0855)72-0355
ＦＡＸ番号：(0855)72-0388
Ｅ メ ー ル：shimanechuo-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.shimane-chuo.ed.jp/

設置学科 学級数

◆普通科　３学級(90人定員)
（コース制・総合選択制）

全校生徒数 240名(H29.5.1現在)

男子137名　女子103名

学校の特色

個に応じた指導による学力向上

◆進路・関心にあわせたコース・科目選択
◆少人数での理解度別授業
◆きめ細かい個人指導・添削指導
◆進学ゼミ(研修旅行、勉強合宿、予備校講習等助成)

地域と連携した活動による社会人力向上

◆山陰地方初のユネスコスクール認定
◆まちごとキャンパス学習(長期職業実践授業)の実施
◆世界遺産石見銀山遺跡の保全活動(下の写真)

2年生から学ぶ３つのコースの特色

２年生からコースを選択するコース制・総合選択制をとっています。1年生の間にじっくりと将来について考え、2年生から自分の進路に合ったコースで学習します。大学進学から公務員・就職まで、多様なニーズに対応する環境が整っています。

人文科学コース

国語や地理歴史・公民、英語を中心に学習します。文系の大学（国公立大・私立大・短大）に進学したい人、将来は文学や言語、社会、歴史、教育、経済など、人間の社会的な活動を学ぶ進路を考えている人に適しています。

自然科学コース

数学や理科を中心に学習します。理系の大学（国公立大・私立大）に進学したい人、将来は理・工・農学系、医療・看護系、栄養系への進路を考えている人に適しています。

地域デザインコース

地域をフィールドとして、商業系科目、家庭系科目、キャリア形成科目を中心に学び、基礎学力や社会人力を身に付けます。地域の文化や特色、あるいは課題を考察することを通して、地域の未来設計や自らの将来設計に向けて主体的に行動する態度を養います。

部活動

部活動の加入率は 90%以上で、ほとんどの生徒が勉強と部活動の両方に取り組み、それぞれの目標に向かって頑張っています。全国大会・中国大会に出場する運動部のほか、文化部も地域イベントに積極的に参加するなど活発に活動しています。

文化系

吹奏楽、ワープロ、新聞、写真、美術、茶華道、自然科学、地域系

体育系

硬式野球、カヌー、剣道、陸上競技、バスケットボール、ソフトテニス、女子バレーボール

島根県立 矢上高等学校

所　在　地：〒696-0198 邑智郡邑南町矢上 3921
電 話 番 号：(0855)95-1105
ＦＡＸ番号：(0855)95-1995
Ｅ メ ー ル：yakami-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.yakami.ed.jp/

設置学科 学級数

- 普通科 2 学級(60 人定員)
- 産業技術科 1 学級(30 人定員)

全校生徒数 256名(H29.5.1現在)

男子150名　女子106名

学校の特色

【沿革】

大正３年	矢上村立実業補習学校として創立
昭和 23 年	島根県立矢上高等学校となる

県立高校に移管されるときには地域あげての協力があり、現在も地域に深く根ざした学校として地元の人々に愛されています。

【校訓】

「腕に覚えのある人間」
「筋金の通った人間」
「思いやりのある人間」

【教育方針】

教育基本法の精神に則り、知育・徳育・体育のバランスのとれた生徒を育成する。また、当地域における本校の立場を認識して、生徒一人一人が適切な進路選択をし、その自己実現に努めさせる。

本校は、豊かな自然の中で、生徒一人一人の「生きる力」の育成を目標に着実な成果をあげています。生徒と教職員の緊密な人間関係を基盤とした、丁寧な指導により、生徒一人一人を大切にする学校です。

教育内容等

(1)教育課程

普通科は普通教科を中心に学び、２年次からは進路志望により二つのコース（総合コース・探究コース）に分かれます。選択科目も多く、どのような進路志望にも対応できる指導体制を取っています。一方、産業技術科は、自分の興味・関心に応じて、２年次から植物・動物・工業の３つのコースのうち１つを選択して実習中心に専門科目を深く学びます。その他、商業関係の科目選択なども可能です。

(2)進路状況

約 80%が進学、20%が就職しています。進学先は、国公立・私立の４年制大学・短大・専門学校・看護学校等多様です。就職は、一部は公務員、多くは民間企業です。

(3)部活動

部活動への加入率が高く約 95%の生徒がいずれかの部に加入しています。

(4)資格取得

特に産業技術科においては、危険物取扱者、毒劇物取扱責任者、小型建設機械運転技能などの資格試験に挑戦でき、毎年これらの資格を取得して卒業していく生徒もたくさんいます。

(5)入学者選抜について

普通科、産業技術科とも推薦選抜を実施しています。

産業技術科の田植え実習

島根県立 江津高等学校

所　在　地：〒695-0021 江津市都野津町 293
電 話 番 号：(0855)53-0553
F A X 番 号：(0855)53-0838
E メ ー ル：gotsukoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.gohtsu.ed.jp

設置学科 学級数

◆普通科 2 学級

全校生徒数 216名(H29.5.1現在)

男子108名　女子108名

学校の特色

【校訓】
＝思慮・高邁・貫徹＝

【教育目標】
社会的使命を自覚し、地域・社会を幸せにしようとする人を育てます。

【重点目標】

1. 出会いを通して感動する機会を与えます。
   - ◆地域の人々と連携した活動を通して学びの糸口をつかませます。
   - ◆江津で高校時代を過ごすことの意義と目的を意識させます。
2. 自ら考え、判断し、表現する機会を与えます。
   - ◆アクティブ・ラーニング的な要素を取り入れた授業を推進します。
   - ◆家庭学習の習慣が定着するよう授業や課題を工夫します。
   - ◆部活動や生徒会活動に限らず、生徒が自発的に行動することを支援します。
3. 多様性を受け入れ、協働する機会を与えます。
   - ◆部活動やボランティアなど、自己有用感が高まる経験をする機会を与えます。

海を見下ろす 青春キャンパスのひとこま

(1)グローカルキャリア教育の充実

職業や働くことの意義、大学などの進路選択について講演会や大学の模擬授業などで考えを深め視野を広げる取組をしています。島根大学、島根県立大学との連携、「KAWARA プロジェクト」など独特の学習ができます。また、「地域を幸せにする力を培う」ため地域を知り地域の課題やその解決策を考えようと、総合学習の時間に地域に関する学習と地域の活動への参加を充実させています。地域で活躍されている方々の話を聞き、そこへ出向くことで自らの将来を考えます。

(2)多様な進路に応じた学習指導

生徒一人一人に向き合うために、少人数・習熟度別指導を徹底しており、授業の選択群も多く、国公立、私立４年制大学から短大・専門学校・医療系専門学校・就職など多様な進路が選択できます。

(3)文武両道、活発な部活動

部活動も活発です。近年全国大会に出場しているソフトテニス部・ハンドボール部・吹奏楽部など、体育系文化系各部とも人間力向上を目指し、日々部活動と学習を両立しながら練習に励んでいます。また、チーム江津地域活性部(吹奏楽、茶道、生活科学、石見神楽)を始めとして、多数の部活動が地域と連携した交流・活動を行っています。

(4)生きた英語を学ぶための取組

実践的なコミュニケーション能力を育てるために、生徒の能力に応じて少人数クラスによる言語活動を中心とした授業を行います。その際には PC 教室にあるコーリングシステムを用いた先進的な授業も展開します。また英語科のノウハウを引き継いだ小学校との英語交流による実践的なコミュニケーションを行う場も提供します。

島根県立 江津工業高等学校

所　在　地：〒695-0011 江津市江津町 1477 番地
電 話 番 号：(0855)52-2120
ＦＡＸ番号：(0855)52-2264
Ｅ メ ー ル：gotsukogyo-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.gotsu-th.ed.jp/

設置学科 学級数

- 機械・ロボット科 1学級
- 建 築 ・ 電 気 科 1学級

全校生徒数 205名(H29.5.1現在)

男子165名

女子40名

学校の特色

【校訓】「質実剛健」「不撓不屈」

【教育目標】

教育基本法に則り、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を養うとともに、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた有為な工業人を育成する。

【概要】

明治 35 年創立の那賀郡立蚕業講習所を前身とします。昭和 9 年に県立江津工芸学校として開校し、開校 84 周年を迎えた伝統のある学校です。

卒業生は 1 万 3 千人余名で、地元行政、地元企業、県外企業の諸先輩方とのつながりも深く、卒業後も「江工会」のきずなで結ばれています。

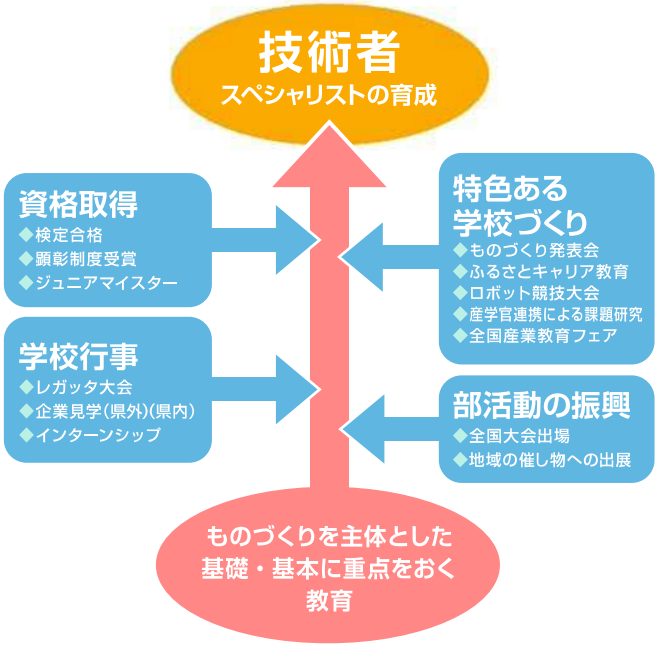
東に江の川、北に日本海、南に星高山という恵まれた自然環境と各学科の最先端技術設備を整備した教育環境に囲まれて、技術者を目指す充実した高校生活が送れます。

【進路状況】

就職者が約 8 割、進学者が約 2 割の割合で、就職先の半数以上が県内企業です。企業とのつながりが強いので、不況においても求人倍率は高く、最初の試験(第一志望)での内定率も高いのが特徴です。年度末には内定率 100%となります。

〔求人倍率 17.1 倍(H28 年度)〕

本校の取組



校内レガッタ

島根県立 浜田高等学校

所　在　地：〒697-0024 浜田市黒川町 3749
電 話 番 号：(0855)22-0042
ＦＡＸ番号：(0855)22-2457
Ｅ メ ー ル：hamada-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.hamakou.ed.jp/

設置学科 学級数

◆普通科 5 学級　◆理数科 1 学級

全校生徒数 601名(H29.5.1現在)

男子297名　女子304名

学校の特色

◆飛翔・石見の雄

浜田高校は平成 25 年度に創立 120 周年を迎えた県西部屈指の伝統校です。卒業生は 4 万人を超え、地域の熱い期待と支援を受け名実ともに「石見の雄」として、地域の活性化、21 世紀の日本・世界を舞台に活躍できる人材、ふるさとに貢献する人材の育成に努めています。

◆浜田高校の目指すもの

目指す生徒像

- ◆人権尊重の立場に立ち、自他の人格を尊重できる生徒
- ◆確かな学力、豊かな心情、心身の健康など「生きる力」を有する生徒
- ◆高い志を持ち、不断の努力ができる生徒
- ◆国際社会・地域社会において貢献したいとの気概を有する生徒

目指す学校像

- ◆生徒が安心して明るく生き生きと活動する学校
- ◆教職員が組織として活動する学校
- ◆保護者や地域の期待に応える学校

特色ある学校づくり

【学力の向上】

◆希望進路に合わせた学習内容
習熟度別学級編制、学力補充講座、土曜特別講座、夏季講座

【芸術活動】

◆美術の推進 絵画溢れる学舎、創立記念館「素心室」
◆音楽の推進
クラス対抗合唱コンクール、伝統ある合唱部、吹奏楽部
◆文化部の推進
放送部、自然科学部、美術部、歴史・社研部など全国大会出場

【スポーツ活動】

◆スポーツの推進と人材育成
硬式・軟式野球部、体操部、ソフトテニス部、柔道部、剣道部、水泳部、弓道部、陸上競技部、卓球部などの活躍
◆球技大会等学校行事

【新たな学校づくり】

◆ICT の活用による新たな学び推進モデル事業研究指定校
◆総合的な学習の時間「HIRAKU」
県内外の職業人や大学の先生と連携したキャリア教育や進路学習
◆浜田市への政策提言
◆理数科の取組
東京での先端科学技術研修や地元の研究施設訪問、課題研究
◆高大連携 島根県立大学との各種連携
◆講演会や学園祭展示・出店などのPTA活動

1年理数科 先端科学技術研修 ＪＡＸＡにて

島根県立 浜田高等学校 定時制課程

所　在　地：〒697-8789 浜田市黒川町 3749
電 話 番 号：(0855)22-0187
ＦＡＸ番号：(0855)22-2549
Ｅ メ ー ル：hamada-teitsu@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.shimanet.ed.jp/hamadat/

設置学科　入学定員

◆普通科〈昼間部〉40名　〈夜間部〉40名

全校生徒数　58名(H29.5.1現在)

男子28名　女子30名

学校の特色

平成 24 年 4 月に定時制課程と通信制課程を併置した単位制の高校として開設しました。新しい学びのステージとして、浜田高校の 100 年を超す歴史の中に誕生しています。

全日制課程と比べて自分の時間が多くとれ、進学のための勉強や仕事・趣味の時間に活かすことができます。

【めざす教育】

(1)自他の人格を尊重できる生徒
(2)「生きる力」を身に付けるために努力する生徒
(3)社会のルールを守り、自律性と社会性を身に付ける生徒

【自分の学びと生活との両立が実現できる学校】

①単位制
学年による区別が無く、必履修科目以外は自分の学習のペースに合わせた自分の「時間割」が計画できます。

②二部制
どちらかの学習時間帯に所属します。
◆昼間部(授業時間帯 13：15 ～ 16：30)
◆夜間部(授業時間帯 17：20 ～ 20：35)

③修業年限 3 年以上
自分の所属する部でじっくりと学習し、4 年で卒業できます。

④三修制
他部の授業を受けたり、通信制を併修することで 3 年で卒業することも可能です。

【日課表】

	時限	時間	
昼間部	1 限	13:15～14:00	昼間部で他部履修→
	2 限	14:05～14:50	
	3 限	14:55～15:40	
	4 限	15:45～16:30	
	部活動等	16:30～17:20	部活動等
←夜間部で他部履修		17:20～18:05	5 限
		18:10～18:55	6 限
		19:00～19:45	7 限
		19:50～20:35	8 限

夜間部

島根県立 浜田高等学校 通信制課程

所　在　地：〒697-8789 浜田市黒川町 3749
電 話 番 号：(0855)22-0187
ＦＡＸ番号：(0855)22-2549
Ｅ メ ー ル：hamada-teitsu@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.shimanet.ed.jp/hamadat/

設置学科 入学定員

◆普通科 100 名

全校生徒数 161名(H29.5.1現在)

男子84名　女子77名

学校の特色

【歴史】

平成 24 年 4 月に、県西部の定通教育の環境を整備するため、単位制の高校として開設しました。新しい学びのステージとして、浜田高校の 100 年を超す歴史の中に誕生しています。

全日制課程と比べて自分の時間が多くとれ、進学のための勉強や仕事などの時間に活かすことができます。

なお、遠方の生徒は、大田・益田地区の協力校で学習活動を進めることができます。

【めざす教育】

(1)自他の人格を尊重できる生徒
(2)「生きる力」を身に付けるために努力する生徒
(3)社会のルールを守り、自律性と社会性を身に付ける生徒

【自分のペースで学ぶことができる学校】

①単位制

自分の学習のペースや目標に合わせ、オリジナルの「時間割」を作成し学習できます。

②スクーリング

(日曜日：年間20回程度、火曜日：年間22回程度設定)

◆全日制や定時制の授業に相当するもので、自分で計画的に登校して受講します。
◆レポートの作成に役立ち、質問もできます。

③レポート

◆教科書で自学自習した内容をもとに作成し、学校に提出します。
◆提出したレポートは添削指導を受け合格する必要があります。
◆提出数は各教科(科目)毎に決まっています。

④修業年限 3 年以上

入学から卒業まで

入学
(前期:4月、後期:10月)

受講手続

学習活動
◆レポート(科目ごとの課題)
◆スクーリング(授業の出席)
◆特別活動(生徒会、学校行事)
◆試験(前期・後期)

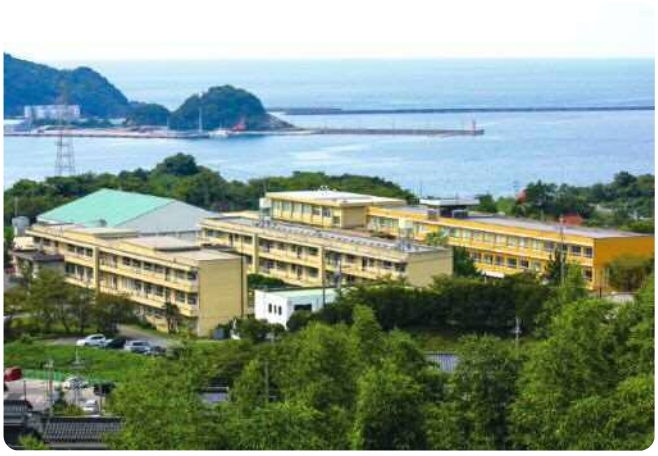
修得単位数
1年間で30単位
半期(前期・後期)で15単位

卒業条件
74単位以上修得
(必履修科目の履修含む)
特別活動30時間以上
新入生は在籍3年以上

卒 業

島根県立
浜田商業高等学校

所　在　地：〒697-0062 浜田市熱田町675
電 話 番 号：(0855)27-0064
ＦＡＸ番号：(0855)27-2440
Ｅ メ ー ル：hamadasyogyokoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.shimanet.ed.jp/hamasho/



設置学科　学級数

◆商業科 1 学級　◆情報処理科 1 学級

全校生徒数 230名(H29.5.1現在)

男子109名　女子121名

学校の特色

①昭和 40 年に新設された石見部唯一の県立商業高校であり充実した施設設備を誇っています。

②眼下に浜田商港を望み、背後に三階山を仰ぐ風光明媚な自然環境の中に位置しています。

③より良い産業人育成のため、教科学習だけでなく全人教育の推進に力を入れています。

④部活動を奨励して個性の伸長を図り、困難に打ち克つ体力と精神力の育成を目指しています。

ー校訓ー

1. 開拓者精神に徹し、気魄と情熱に燃えよ。
2. 学習と部活動の両立に精進せよ。
3. 明朗にして闊達、気品ある校風の樹立に努めよ。

◆「さわやか浜商生」を合言葉に、身だしなみや挨拶などの生活指導、人権尊重の心を大切にする取り組みなど、明るくよりよい校風づくりに努めています。

◆教育課程

商業に関する専門的な内容をより深く学習できるカリキュラムとなっています。また、就職や進学に有利となる簿記・情報処理・珠算電卓・ワープロなどの資格が取得できるように配慮しています。情報処理科では「ＩＴ人材育成事業」に基づく授業を展開しています。

◆施設・設備

石見部唯一の商業高校として、パソコンを利用できる実習室(3 室 120 台)、Skype を利用した遠隔地授業が展開できる ICT 環境も整っています。

◆学校生活

冷暖房が完備された各教室で、毎朝 10 分間の「朝読書」から落ち着いた学校生活がスタートします。体育祭や文化祭、球技大会などの学校行事は生徒会が主体となり実施され、楽しく充実した高校生活を送ることができます。

◆進路状況

小論文や面接指導、公務員模試の実施など、一人一人に応じた緻密な指導による進路実現への支援をしています。

平成 28 年度の就職者は 50%、就職者のうち 70%が県内就職をしました。大学、短大、各種専門学校への進学者は 50%でした。

◆地域に開かれた学校

地元事業所の社長さんによるマーケティング講座や公民館活動など地域と共に学ぶ授業を行っています。

「浜商デパート」は、地域の皆さまと一体となり活気あるイベントとなっています。

保育体験、看護体験等を通して、将来について考える活動も実施しています。

「ＩＴ人材育成事業」では地元ＩＴ企業と連携し、ＩＴを活用したビジネスプランを創造するなど、実社会に即した授業を展開し、地域社会に貢献できる人材育成に力を入れています。

◆入学者選抜について

部活動や学力、特別活動による推薦選抜を実施しています。推薦選抜、一般選抜ともに「一括募集(くくり募集)」です。

島根県立 浜田水産高等学校

所　在　地：〒697-0051 浜田市瀬戸ケ島町25の3
電 話 番 号：(0855)22-3098／(0855)22-3099
F A X 番 号：(0855)23-4811
E メ ー ル：hamadasuisan-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.shimanet.ed.jp/hamasui/

設置学科 学級数

◆海洋技術科 1 学級　◆食品流通科 1 学級

全校生徒数 124名(H29.5.1現在)

男子78名　女子46名

学校の特色

私たちのホームグラウンドは「海」です。
「海」という教室での学びをとおして、「生きる力」を育み、職業人としての規範意識や倫理観のかん養、技術の進展や環境への配慮、故郷教育(郷育)、地域の水産・海洋関連産業担う人材の育成に力を入れています。

―教育目標―

(1) 正義と礼節を重んじ、心身ともにたくましい人間を育成する。
(2) 豊かな人間性を持ち、自他を敬愛し、自主的に行動できる人間を育成する。
(3) 水産・海洋の専門的知識・技術を身に付け、社会に貢献できる人間を育成する。

練習船「神海丸」出港！ 行ってきま～す！

学習、資格、進路について

海洋技術科は「海・船・魚」についての学習をします。2年生からは興味・関心に応じて「海洋コース」と「機関コース」に分かれて学習をします。

食品流通科では、「食育」特に「食の安全・安心」を心掛けて、食品の製造、品質・管理、流通について学習します。企業と共同して商品研究にも力を入れています。

本校での学習を通して取得できる主な資格は次のとおりです。

◆三級海技士(航海・機関) ◆四級海技士(航海・機関)
◆一級小型船舶操縦士 ◆一級海上特殊無線技士 ◆危険物取扱者
◆ガス溶接講習 ◆アーク溶接講習 ◆2級ボイラー技士 ◆潜水士
◆冷凍機械責任者 ◆水産食品技能検定 ◆日検日本語ワープロ検定
◆日検情報処理検定 ◆HACCP(ハサップ)検定など。

進路については、例年約70%の生徒が就職し、30%が進学しています。就職者の約80%が地元企業に就職し、地域産業の担い手として活躍しています。進学者は本校専攻科や4年制大学、短期大学、専門学校などに進み、海洋・食品・栄養などの専門性を更に高める学習をしています。

◆専攻科(修業2年)

本科3年間を卒業後、さらに上級海技士の資格を取得するため、島根県所有の大型水産練習船で国内外への航海訓練を重ね、航海士、機関士を目指します。

◆寄宿舎

定員30名の男子寮です。旧棟および新棟があり、2人部屋13室、1人部屋4室で全室冷暖房完備です。

学校から2.5㎞の距離にあり、3食付きで費用は月額41,000円です。希望者や女子生徒には、下宿も斡旋しています。

島根県立 益田高等学校

所　在　地：〒698-0017 益田市七尾町 1-17
電 話 番 号：(0856)22-0044
F A X 番 号：(0856)22-1442
E メ ー ル：masudakoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.masuda.ed.jp

校歌に歌われる蓮

設置学科 学級数

◆普通科 4 学級　◆理数科 1 学級

全校生徒数 516名(H29.5.1現在)

男子232名　女子284名

学校の特色

(1)歴史・伝統

本校は明治 45 年に開校され、創立 107 周年を迎える伝統ある高校です。県西部を牽引する進学校として、これまでに 1 万 8,484 名の卒業生が巣立ち、国内外の様々な分野で活躍しています。

(2)教育方針

本校の使命は、入学してきた生徒を、知性に富み、感性豊かで、心身ともに健やかな人材に育てることです。そのために次の 4 つを学校教育目標の柱にしています。

① 進路保障(進学目標の実現)
② 学力保障(教科の学習)
③ 資質保障(部活動・学校行事・生徒会)
④ SSH(スーパーサイエンスハイスクール事業)

【進路目標の実現】

毎年卒業する生徒の約 8 割が 4 年制大学に進学しています。このうち、国公立大学の現役のべ合格率は過去 5 年間で約 5 割であり、多くの生徒が入学時の夢をかなえます。SSH 指定校の効果で、国公立大学理系の合格率が高いのが特徴です。将来のこの地域の医療や教育を支える医・薬・看護系統、及び教員養成系統の志望が多いという伝統があります。多くの卒業生が医療や教育現場で活躍しています。

【教科の学習】

「わかる授業」そして「力をつける授業」に益高生は真剣に取り組んでいます。授業は 1 時限が 45 分、1 日 7 時限（火曜日は 8 時限）あります。家庭での予習・復習を大切にしながら獲得した確かな学力は、未来の自分を創る土台になります。

【学校生活】

益田高校は部活動や学校行事、生徒会活動がとても盛んです。部活動への入部率は 90%を超え、教室以外の様々な場面でもたくさんの仲間と出会い、お互いを高めていくのが益高生活の大きな魅力です。

【SSH（スーパーサイエンスハイスクール事業）】

文部科学省より平成 16 年度に SSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業の指定を受け、14 年目となります。「地域巡検」、「関西実習」、「課題研究」などのプログラムで、将来の地域・社会を担う科学技術系人材の育成を目指し、今年度より普通科文系を含めた全ての生徒を対象として事業を展開しています。毎年 7 月に近隣の大学、県内高校、益田市周辺の小中学校、企業を対象としたイベント「益田さいえんすたうん」を開催し、事業成果の普及を行っています。

「益田さいえんすたうん 2017」科学ショー

島根県立 益田翔陽高等学校

所　在　地：〒698-0041 益田市高津三丁目21番1号
電 話 番 号：(0856)22-0642
FAX番号：(0856)31-1043
E メ ー ル：masudashoyo-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://masudashoyo.jp/

設置学科 学級数コース(系列)名

- 電 子 機 械 科 1学級〈機械、制御〉
- 電　　気　　科 1学級
  〈電力技術、コンピュータ技術〉
- 生物環境工学科 1学級
  〈食料生産、フラワーバイオ、環境土木〉
- 総　合　学　科 1学級
  〈食品科学、生活文化・福祉〉

全校生徒数 393名(H29.5.1現在)

男子237名　女子156名

学校の特色

益田工業高校と益田産業高校の歴史と伝統を継承し、平成 18 年に開校した県内初の複合型専門高校です。生徒たちの個性を生かし、「ものづくり」を通した人づくりから、将来を担う人材の育成を目指して、地域と共にキャリア教育を進めています。

校訓 創造 敬愛 誠実

教育目標

①旺盛な研究心を持とう
②互いの心を尊重しよう
③郷土を愛する心を持とう

教育方針

①高い志をもち、自らの可能性を広げる力を培う
『個の確立』

②社会の変化に対応できる専門的知識を深め、実践力を高める
『知性の涵養』

③互いを尊重しあい、心豊かでたくましい人間の育成
『敬愛の精神』

④明日の日本、郷土の担い手となる人材の育成
『社会への貢献』

資格取得

補習などのサポートが充実しています

電子機械科	◆技能検定機械保全 2・3 級 ◆技能検定施盤 2・3 級 ◆二級ボイラー技士 ◆ガス溶接技能講習
電気科	◆第一種電気工事士 ◆第二種電気工事士 ◆第三種電気主任技術者 ◆工事担任者(DD、AI)
生物環境工学科	◆農業技術検定 ◆初級バイオ技術検定 ◆測量士補 ◆2 級土木施工管理技士、 ◆小型車両系建設機械 ◆文書処理能力検定
総合学科	◆介護職員初任者研修 ◆文書処理能力検定 ◆食生活アドバイザー ◆全国高等学校家庭科技術検定

乙種危険物取扱者、漢字検定、数学検定、英語検定など

進路状況

卒業生の約 4 割が国公立大学から専門学校まで幅広く進学しています。約 6 割の就職者も専門科目の学習や資格取得を生かして、100%の内定率を維持しています。

学校生活

生徒たちは明るくあいさつを交わし、落ち着いて学習に取り組んでいます。部・同好会の活動も盛んで日々努力しており、大会では好成績を収めています。

11 月の「翔陽祭」など生徒が自主的に活動できる場や、地域と連携した多様な体験活動など、実践の中から学べるプログラムが用意されています。

市民へ公開で行われる課題研究発表会(2月)

島根県立 吉賀高等学校

所　在　地：〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937
電 話 番 号：(0856)78-0029／(0856)78-0120
F A X 番 号：(0856)78-0742
E メ ー ル：yoshikakoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.yoshika.ed.jp/

設置学科 学級数

◆普通科 1 学級

全校生徒数 95名(H29.5.1現在)

男子48名　女子47名

学校の特色

昭和23年創立の本校は、「清流日本一」に選ばれた高津川の源流の町にあり、1学年1学級の小さな学校ですが、豊かな自然環境の中で、地域の教育力を生かしながら教育活動を進めています。平成13 年度から、吉賀町内の4つの中学校と中高一貫教育(連携型)を導入し、6年間を通したふるさと教育、キャリア教育で、ふるさとを愛し、たくましく生きる生徒を育てています。また、現在は町外・県外生徒の募集も積極的に行っていて、町内外の生徒が協働し、お互いに刺激し合いながら充実した学校生活を送っています。

本校は、小規模校の利点を生かし、少人数教育を行っています。英語、数学、国語では、全学年で習熟度別に授業を行い、2年次からは進路希望に応じたコース選択制も導入しています。また、個別添削指導にも力を入れていて、「小さな学校で大きな夢を！」を合い言葉に、生徒一人ひとりの夢の実現を目指しています。

〈校訓〉至誠・創造・努力

〈めざす生徒像〉

地域・社会に貢献できる人材の育成

◆ふるさとを見つめ、ふるさととともに生きる生徒
◆基礎基本を身につけ、課題解決に取り組む生徒

特徴

【教育課程】

2 年次から、進路希望に応じたコース制を導入しています。大学等への進学を意識した「総合探究コース」は、さらに文系・理系の選択もでき、少人数指導で志望校合格を目指します。「地域創造コース」は、商業科の専門科目をベースに、希望に応じて家庭科や学校設定教科「環境」の選択もでき、社会に出るためのより実践的な学習ができます。

【進路状況】

平成 28 年度実績では、国公立大学、私立大学、短期大学、看護・医療系専門学校、各種専門学校、民間就職のどの領域にも合格者がありました。生徒の多様な進路希望も、個別の指導により支援しています。

【部活動】

体育系 4 部、文化系 6 部があります。また、全校生徒が部員である「地域クラブ」というユニークなクラブがあり、地域の諸行事にボランティアとして協力し、地域の活性化にも貢献しています。地域クラブには、環境部門もあります。

【キャリア教育】

「サクラマス・ドリーム・プログラム」

1・2 年次の、起業家精神に学ぶ「アントレプレナーシップ教育」では、地域の起業家の方と協働で、地域の課題について探究し、その解決策として地域活性化プランや商品開発プランを考えます。その他にも「東京研修」や大学との共同研究などを通じて、生徒は社会の中で役割を果たしながら、自分らしい生き方を実践する力をつけていきます。

【その他】

◆**学習支援クラウドサービス「Classi」導入**
各自のスマホ・タブレット等を使って学習環境を広げ、家庭学習の効率化を図ります。

◆**公設塾「よしか塾 N E X T」**
吉賀町の支援による公設塾と学校が連携して、生徒の進路実現を支援します。(平成 29 年度は、3 年生対象)

◆**「サクラマス交流センター」**
吉賀高校に通う町外・県外生のための寄宿舎が、吉賀町により運営されています。

島根県立 津和野高等学校

所　在　地：〒669-5605 鹿足郡津和野町後田ハ12-3
電 話 番 号：(0856)72-0106
ＦＡＸ番号：(0856)72-0329
Ｅ メ ー ル：tsuwanokoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://tsuwano.ed.jp/

設置学科 学級数

◆普通科 2 学級

全校生徒数 208名(H29.5.1 現在)

男子105名　女子103名

学校の特色

【教育目標】

1. 社会貢献ができる人材を育てる。
2. 生き方の基礎力を育てる。
3. 豊かな心と健やかな体を育てる。

文豪森鷗外と哲学の祖西周は、ともに日本の近代化に尽力し、多大な貢献をしました。本校の前身にあたる藩校養老館で学んだ偉大な先輩です。1908年の創立から一世紀の時を経て、数々の歴史が先輩方によって刻まれてきました。

津和野は豊かな自然に囲まれ、ゆったりとした時の流れの中で自分を高めていく、そうした生活や学習ができる環境にあります。

小規模校の利点を活かし、生徒と生徒、生徒と教師、生徒と地域住民との親密なコミュニケーションをはかります。一人一人の顔を見ながら、個を大切にします。「田舎だからできること」「田舎ではできないこと」その両方を体験することで地域の課題解決や魅力化にも取り組みます。

学校生活

【学習活動】

普通科のみの 2 クラス定員ですが、2 年次以降、進路希望に従って 3 つのコースを選択できます。1 年次は全員共通で、2 年次に「文系」「理系」「ビジネス（商業系科目履修コース）」のいずれかを選びます。津和野高校独自の進路別カリキュラムのもと、進路目標に合わせた科目を選択することで、多様な進路を実現できます。

生徒個々の学力を伸ばすため、習熟度別授業や少人数指導を実施しています。総合的な学習の時間には、大学入試改革を見据えた「プロジェクト型学習」を取り入れています。進学補習や個別の添削指導にも力を入れています。さらに、放課後から夜間にかけて、専任スタッフが指導する町営英語塾 HAN-KOH が開設されています。津和野高校は、きめ細かな指導で生徒一人一人の夢の実現をサポートします。

【学校行事】

「萩～津和野」間を一日かけて歩き通す鍛錬行事や文化部合同公演「JAM」などを実施しています。

【部活動】

中山間地域の高校として地域を創り出す人材を育てることを目指し、体育系、文化系に次ぐ社会活動系の部活動として新たに「グローカル・ラボ」が誕生しました。地元社会に飛び出して、津和野での生活に溶け込んで活動しています。

島根県立 隠岐高等学校

所　在　地：〒685-8512 隠岐郡隠岐の島町有木尼寺原1
電 話 番 号：(08512)2-1181
ＦＡＸ番号：(08512)2-6195
Ｅ メ ー ル：oki-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.oki-hs.ed.jp/

設置学科 学級数

- 普通科 2 学級(60 人定員)
- 商業科 1 学級(30 人定員)

全校生徒数 223名(H29.5.1現在)

男子98名　女子125名

学校の特色

大正 2 年隠岐女子技芸学校（修業年限 2 ヵ年）として開校。昭和 56 年現在地に移転。平成 25 年創立 100 周年記念式典。校庭は、隠岐の島町唯一の日本陸連第 4 種公認グラウンド。卒業生数約 12,500 人

離島である隠岐諸島最大の島である島後（どうご）の隠岐の島町にあります。フェリー・超高速艇・飛行機が定期運行しています。

平成 28 年度は、進学約 90%・就職約 10%で、国公立大学・私立大学・短期大学・専門学校や公務員・自衛官・一般企業など、さまざまな進路に対応した進路指導を行っています。本校が大学入試センター試験の会場となっています。

〈校訓〉健・智・拓
健やかにして 知を以って 未来を拓く

〈教育目標〉
健康で、確かな学力を持ち、自立する生徒を育成する。
～現在と未来の隠岐を支える人材の育成～

(1)各科の特色

◆普通科

上級学校への進学を目指した学習活動をしています。ほとんどの生徒が大学入試センター試験を受験します。英語と数学においては少人数による授業も導入しています。2 年次からは文系と理系とに分かれますが、3 年次にはさらに多様な進路希望に応じた少人数での授業展開を行っています。

◆商業科

ビジネスに必要な基本的なマナーとスキルを徹底して身に付けることを目標にしています。簿記、情報処理等の高度な資格を取得してそれを生かした進学も可能です。県内商業高校の中でも高い資格取得率です。平成 20 年度からは、10 年連続で全国簿記コンクールに出場しています。

(2)部活動

体育系は平成 15 年春の選抜高等学校野球大会に出場した野球部を始め 7 つの部、文化系は 26 年度県吹奏楽コンクール小編成の部で中国大会に出場し、町内での訪問演奏会も活発に行っている吹奏楽部を始め 6 つの部があります。全校生徒の約 94%が部活動に加入しています。

(3)学校行事

地域と連携したさまざまな取組をしています。県内の大学や専門学校及び企業を訪問する「キャリア＆キャンパス見聞録」、生徒による有木小学校学習サポート「放課後先生」、「進路セミナー」、「保育実習」、また、隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会と連携し、地域課題解決型学習である「隠岐ジオパーク研究」などに取り組んでいます。さらに、広く世界にふれるという目的で、オーストラリアのキャンベラにある St Mary Mackillop College との交流を行っています。平成 29 年度は、オーストラリアから 15 名の生徒が隠岐の島町に来島し、隠岐の島町の中高校生と交流しました。

生徒会活動も積極的に展開しています。ふれあいコンサート、学園祭、球技大会、3 年生を送る会等は卒業後も思い出に残る行事となっています。

(4)寄宿舎〈清明寮〉

自宅から通学が困難な皆さんのための寄宿舎です。定員は男女合わせて 32 名です。冷暖房完備、機械警備を導入した設備により、安心して集団生活を送ることができます。総合病院、ショッピングセンターも近くにあり、学校まで徒歩 10 分です。寮費は月額 42,000 円です。（食費を含む。町からの補助を受けた場合。）別途、入寮費 10,000 円が必要です。

島根県立 隠岐島前高等学校

所　在　地：〒684-0404 隠岐郡海士町大字福井1403
電 話 番 号：(08514)2-0731
ＦＡＸ番号：(08514)2-0035
Ｅ メ ー ル：okidozen-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://dozen.ed.jp/

設置学科 学級数

◆普通科 2 学級

全校生徒数 184名(H29.5.1現在)

男子81名　女子103名

学校の特色

【校訓】

本校は「真理・理想・進取」を校訓とし、生徒の皆さんの様々な夢の実現を支援するとともに「地域に開かれた学校づくり」に力を入れています。

(1)学習

自ら問いつづけ、考え抜く力を育成するため、アクティブラーニング型授業を導入しています。大型テレビモニターやiPadも導入し、学ぶためのICT環境も整備されています。また、離島では初となるスーパーグローバルハイスクールに指定され、地域や世界を学びの場にして自ら主体的に学ぶ環境が多くあります。

(2)地域課題研究

地域に実在する課題にチームで取り組むことで、地域に対する愛着を持つだけでなく、地域の一員として何ができるかを考え、他者とつながりながら物事を解決することを体感的に学びます。

(3)生活

島前地域以外から入学する生徒のため、男女とも寮を完備しています。寮では居室と個別の学習室、共有の食堂など、集団生活を行う環境が整っています。学校からも近く、寮生は仲間との友情を育みながら、各自目標を持って勉強や部活動に励んでいます。

学校行事

本校では地域や海外と関わる多様な機会があります。2年次には全員でシンガポール海外研修に行き、地域での探究活動の成果を現地の大学生に向けて発表します。チームで協働しながら実践を行い、英語でプレゼンテーションをすることは、将来必要となる多文化協働力を体得する貴重な経験となります。

他にも、年間を通して、生徒会主催の学園祭や球技大会など様々な活動が行われています。中でも学園祭は、保護者・卒業生をはじめとする地域の皆さんにも参加していただき、とても盛り上がります。学園祭のフィナーレを飾る「火のつどい」は幻想的で感動的です。

部活動

地域国際交流部、ヒトツナギ部、男女バレー部、レスリング部、男女ソフトテニス部、女子バスケットボール部、軟式野球部があります。ヒトツナギ部は、観光プランの立案(H21年観光甲子園日本一)・実践を、地域国際交流部は地域活動や国際交流活動を行っています。中でも特筆すべきは県の強化校に指定されているレスリング部で、中国大会では島根県勢初の優勝（H28）に輝くなど常に上位入賞を果たしています。全国高校総体への出場や国体への参加など、目覚ましい活躍を続けています。

島根県立 隠岐水産高等学校

所　在　地：〒685-0005 隠岐郡隠岐の島町東郷吉津２
電 話 番 号：(08512)2-1526
ＦＡＸ番号：(08512)2-6079
Ｅ メ ー ル：okisuisan-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：http://www.shimanet.ed.jp/okisui/

設置学科　学級数

◆海洋システム科 1学級　◆海洋生産科 1学級

全校生徒数　141名(H29.5.1現在)

学校の特色

【校訓】

(1)真理と正義を愛せよ
(2)勤労と責任を重んぜよ
(3)心身ともに、たくましく鍛えよ

【教育目標】

①水産・海洋系教育をとおして、豊かな人間性と人格の形成を図り、地域社会に貢献できる人材を育成する。
②水産・海洋関連産業に関する、専門的知識と技能を身に付けた人材を育成する。
③心身ともにたくましく鍛える教育活動を実践し、勤労意欲、責任感、正義感の旺盛な人材を育成する。

1907 年創立の本校は、全国で 46 校ある水産・海洋系高校の中でも最も伝統のある学校の一つです。卒業生は、水産業・海運業はもとより陸上産業部門でも広く活躍しています。校舎は海に面した西郷湾奥に位置し、海を舞台に様々な体験学習を行い、将来のスペシャリストとして必要な高度な技術と知識を身に付け、社会に貢献する技術者を養成します。活気ある学校生活の中で、生徒は逞しく成長していきます。

資格取得状況と特色ある学校行事

(1)資格取得

３年間で主に以下のような資格が取得可能です。

◆４級海技士(航海・機関)　◆小型船舶操縦士
◆乙種危険物取扱者　◆二級ボイラー技士
◆一級海上特殊無線技士　◆第二種電気工事士
◆第三種冷凍機械責任者　◆栽培漁業検定
◆全商ビジネス文書実務検定　◆潜水士
◆スクーバーダイビングＣカード　などです。

また、専攻科では大型船の船長・機関長となる資格を得ることができます。これらの資格・免許の合格率は水産・海洋系高等学校の中では、全国一と自負しています。

(2)学校行事

本校の特色ある学校行事としては、１年生全員を対象とした３泊４日の日程で実施する集団宿泊訓練があげられます。真夏の海で４日間、カッター漕練を主とした厳しい訓練ですが、団体生活での規律・気力・体力・協調心を育成します。

その他にも全隠岐カッターレース大会や寒稽古、マラソン大会、体育祭などもあります。

寄宿舎

平成 16 年 9 月に完成した冷暖房完備の寄宿舎に加え、第２寮が増築されました。1 室 2 人部屋で、男子 70 名、女子 6 名が入寮できます。学校の敷地内にあり３食付きで、費用は月額 45,550 円です。

松江市立 女子高等学校

所　在　地：〒690-0835 松江市西尾町 540-1
電 話 番 号：(0852)39-0216
F A X 番 号：(0852)39-0829
E メ ー ル：matsueshijo@mable.ne.jp
HPアドレス：http://www.shijyo.city.matsue.shimane.jp/

設置学科 学級数

- 普通科 3 学級(90 人定員)
- 国際文化観光科 1 学級(30 人定員)
  ▶2年次から【国際文化コース】と【観光コース】に分かれます)

全校生徒数 344名(H29.5.1現在)

女子344名

学校の特色

本県唯一の公立女子高等学校として、昭和 29 年 4 月に開校。平成 7 年 4 月国際文化科を設置。平成 17 年 4 月国際文化科を国際文化観光科に改編。平成 27 年にユネスコスクールに認定。

【教育目標】

本校では次のような教育目標を掲げています。

1. 基礎基本の定着と自ら学ぶ力の育成
2. 心身の健康とホスピタリティー精神の確立
3. 国際教育・英語教育の充実

【本校の特色】

平成 20 年度より全国でもほとんど例を見ない 1 クラス 30 名学級を実現しました。「伸びやかに生徒きらめく学校」をモットーに教育活動を行っています。

部活動も盛んで、インターハイに出場回数の多いハンドボール部や全国大会出場経験のある吹奏楽部を始め、体育系 6、文化系 8 の部が活躍しています。

また、英語教育には特に力を入れており、2 名の ALT 配置は県内に誇り得るものです。

教育課程

普通科は県立高校普通科とほとんど同じカリキュラムとなっており、進路に応じてきめ細やかな指導を受けることができます。国際文化観光科は専門学科として外国語(特に英語)を多く学習し、大学などへの進学を目指します。国際文化コースでは英語の 4 技能を高める学習を行います。また、観光コースでは英語や観光について幅広く学ぶことができます。

入学者選抜

県立高校と同じ日に学力検査を実施します。また、推薦入学(定員の一部)も実施しています。

進路状況

進学する生徒が約 9 割、就職する生徒が約 1 割です。大学・短大・専門学校等への進学を希望する生徒が多くなっています。

学校行事

2 年生の時、普通科は 3 泊 4 日の東北・東京修学旅行、国際文化観光科は 5 泊 6 日のシンガポール海外研修を実施します。

また、中国杭州市との友好都市教育交流事業にも一部の生徒を派遣しています。